



令和4年度指定管理業務
事業報告書

令和5年5月15日

浜松科学館指定管理者
乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

目次

I	指定管理施設の概要		
1.	施設概要	1
2.	指定管理者事業	1
(1)	指定管理者	1
(2)	指定管理期間	1
(3)	組織	1
(4)	浜松科学館運営委員会	2
(5)	共同事業体による運営支援体制	2
(6)	常設展示更新事業	3
II	施設の利用状況	5
1.	年間実績	5
2.	施設利用者状況	5
(1)	利用者数実績	5
(2)	入場者数実績	5
3.	利用者目標と達成状況	6
4.	利用料金と収入状況	6
(1)	科学館利用料金	6
(2)	利用料金収入実績	7
(3)	その他の利用料金	7
5.	COVID-19 対策	8
(1)	マスク着用について	8
(2)	館内制限について	9
(3)	館内の消毒・除菌清掃	10
(4)	広報・掲示物	10
III	科学館事業	11
1.	展示運営	11
2.	企画展・特別展・特別イベント	12
3.	展示体験プログラム・支援ツール	15
(1)	展示ストーリーブック	15
(2)	学習活用ワークシート	15
(3)	科学学習情報システム	15
4.	参加型学習	16
5.	プラネタリウム	18
(1)	投映スケジュール	18
(2)	投映番組	18
(3)	プラネタリウムの利用促進	22
6.	アテンダント	23

7. 連携協力事業	24
(1) 学校等との連携	24
(2) 教育関係機関等との連携	28
(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）	31
8. ボランティア活動支援	34
9. 調査・研究および収集・保存	38
10. パブリックリレーションズ	39
11. 視察・調査	41
IV 維持管理業務	42
1. 科学館の維持保全業務	42
2. 特殊機材・展示物等保守管理業務	43
3. 什器・備品等保守管理業務	43
4. 清掃・警備・防災関係業務	44
(1) 清掃業務	44
(2) 警備業務	44
(3) 防災関係業務	44
(4) 安全管理	45
5. 修繕工事に関する業務	46
6. 事故・苦情等の対応状況	46
V 施設貸出	47
(1) 業務概要	47
(2) 貸室料金等	47
(3) 貸出実績	47
VI 収支報告	48
1. 収入	48
2. 支出	48
VII 自主事業	49
1. 必須の自主事業	49
(1) ミュージアムショップ	49
(2) カフェ	50
(3) 自動販売機	51
2. 任意の自主事業	51
3. 自主事業の収支	52
VIII 資料	53
1. 2022年度科学館入館観覧者状況	54
2. 2022年度イベント・講座実施状況	55
3. 利用者アンケート集計結果	60
4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査（評価）結果	68
5. メディア取材等一覧表	71
IX 指定管理者による自己評価	73

I 指定管理施設の概要

1. 施設概要

施設名称	浜松科学館（愛称 みらいーら）
施設住所	静岡県浜松市中区北寺島町 256 番地の 3
敷地面積	9,911.47 m ² （サイエンスパーク 3,020 m ² 、自然観察園 1,742 m ² ）
建築面積	3,373.95 m ²
延床面積	6,891.95 m ²
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
竣工	昭和 61 年（1986 年）4 月
展示更新	令和元年（2019 年）7 月 1 日

2. 指定管理者事業

(1) 指定管理者 乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

指定管理者 1（代表企業）

所在地 東京都港区台場二丁目 3 番 4 号
 名称 株式会社乃村工藝社
 代表者 代表取締役 社長執行役員 奥本 清孝

指定管理者 2（構成員）

所在地 静岡県静岡市駿河区森下町 1 番 35 号
 名称 株式会社 SBS プロモーション
 代表者 代表取締役社長 永田 龍彦

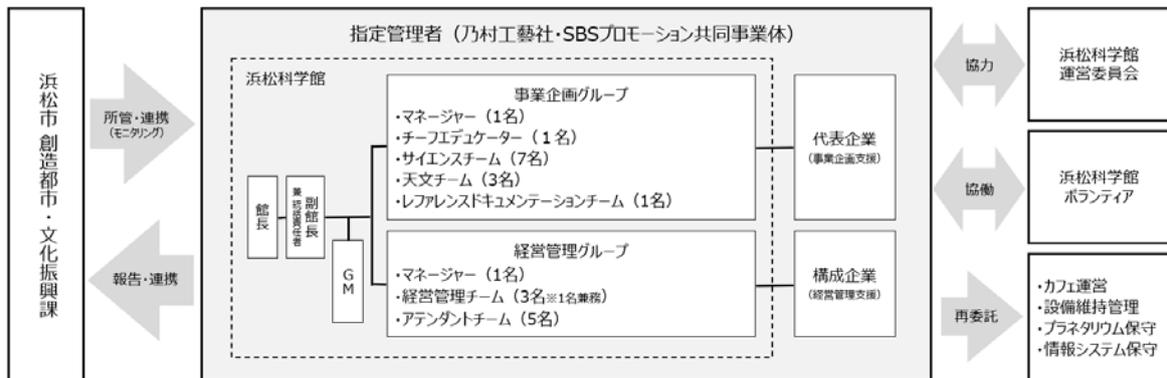
(2) 指定管理期間 2019 年 7 月 1 日～2029 年 3 月 31 日

(3) 組織

名誉館長 天野 浩・名古屋大学教授

館長 小田木 基行

(以下、常勤職員 24 人。下図は 2023 年 3 月 31 日現在)



(4) 浜松科学館運営委員会

科学館事業への助言および協力、評価等を目的に、学識経験者等で構成する浜松科学館運営委員会を開催しました。スタッフとも率直な意見交換をさせていただき、事業価値を高めるためのさまざまなアイデアや考え方を話し合う機会となっています。

名称	日時及び場所	内容
浜松科学館運営委員会	10月26日(水) 14:00~16:00 浜松科学館1階セミナールーム	令和3年度事業報告 令和4年度事業計画及び第一、第二四半期実績報告 各チームリーダーの活動実績発表 常設展示更新事業の概要 意見交換 等

委員名簿(順不同、敬称略)

※令和4年10月更新

氏名	所属	専門(役員)
上野 征洋	静岡文化芸術大学 名誉教授	メディア論(委員長)
遊橋 裕泰	静岡大学情報学部 教授(行動情報学科長)	ICT研究
村井 良子	(有)プランニング・ラボ代表(ミュージアム・プランナー)	博物館経営
嶋野 聡	浜松市役所 市民部 文化振興担当部長	行政
名波 佳紀	浜松商工会議所 産業振興部 工業振興課長	産業界

(5) 共同事業体による運営支援体制

浜松科学館指定管理者である共同事業体構成員は、連帯して指定管理業務に責任を負うとともに、必要な経営資源(人材・業務インフラ・資金・情報)を供給します。また、各社の得意分野や専門性を活かして運営をバックアップします。さらに、共同事業体の各企業が管理運営する類似施設や静岡県内の文化施設との人的交流と事業の連携を進める環境をつくることで、運営ノウハウの共有や、スタッフ個々人の専門能力の向上を図っています。共同事業体の代表企業である乃村工芸社は国内の主要科学館における展示の設計・製作及び施設の管理・運営実績を数多く有しており、蓄積された民間ノウハウと全国的なネットワークを活用することで浜松科学館の運営を支援します。またSBSプロモーションは自社メディアを活用した効果的な広報・プロモーション活動とともに、地域人材や企業、大学との幅広いネットワークにより、オール浜松での魅力的な科学館づくりに寄与しています。

名称	日時及び場所	内容
乃村工芸社 公民連携プロジェクト開発2部PPP課 テーマ交流会	12月19日(月) 20日(火) 19日:14:00~18:00 20日:10:00~18:00 会場:乃村工芸社本社	乃村工芸社が運営する施設(13館)の職員が集まり、交流会が行われました。今年度は対面で行い、合同で企画展を考案するワークショップを行いました。

名称	日時及び場所	内容
SBS プロモーション主催 SDG s セミナー&ワーク	11月11日(金) 14:00~15:00 Zoom によるリモート開催	SBS プロモーション浜松支社管轄の指定管理施設(5施設)の代表者等を対象に、SDG s を推進するための研修が行われました。
多摩六都科学館による特別展 支援	7月22日(金) ~8月31日(水)	夏の企画展「みんなでひとりでパズル展」の開催にあたり、乃村工藝社が管理運営する多摩六都科学館から、パネル解説やパズルを数点、借り受けました。
多摩六都科学館研修 (ショップ運営・管理)	2023年2月2日(木) 3日(金)	令和5年度から変更を予定しているミュージアムショップの商品取引・管理方法について、同様の手法で運営している多摩六都科学館を視察、研修を行いました。
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染防止対策	①補助事業の実施期間 4月1日(金) ~3月31日(金) ②通年	① 令和3年度文化芸術振興費補助金(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業)により、発熱検知端末や消毒液、消毒清掃作業委託費等、環境整備事業費を調達しました。 ② 感染症の拡大に対応して、共同事業体両社より抗原検査キット等の支給がありました。

※本報告書では、世界保健機関(WHO)の決定に基づき、新型コロナウイルス感染症の正式名称を「COVID-19」と表記します。

(6) 展示更新事業

浜松科学館では、2019年のリニューアルから5年目にあたる2024年度と7年目にあたる2026年度に展示の一部を更新することが計画されています。展示更新は、最新の科学的知見や科学技術の新たな動向を取り入れ、常設展示の約1割を目安として行う予定です。(参照：事業スキーム) また、当館の現場職員を中心とした分野横断的なメンバー構成でプロジェクトチーム(PT)を結成し、展示更新業務を担います。2022年度は、更新をより実効性の高いものとするため、更新基本計画策定に先立ち、市民や利用者から求められる展示の在り方を導き出すことを目的として、展示モニタリング調査を実施しました。既存展示をさまざまな角度から評価し、現状及び2024年度以降の運用課題を整理しました。

① 事業スキーム

名称	浜松科学館常設展示更新事業(仮称)
事業期間	2024年度(第1期)、2026年度(第2期)
事業予算	第1期 48,999,500円、第2期 50,000,500円(いずれも消費税込金額) 協定書第31条第4項及び第5項の規定に基づき、業務完了検査後、展示更新に関する指定管理料として浜松市が指定管理者に支払う。

名称	浜松科学館常設展示更新事業（仮称）
事業スキーム	1 事業形態 DBO 協定書に基づく指定管理業務の期間内事業として実施 2 目的 「各科学分野の進展や最新の科学的知見、展示協力企業の持つ科学技術の状況を鑑み、指定管理期間を通じて常設展示数の1割程度（企業協力展示を除く）を目安に計画的に更新していくものとする。」（運営業務に関する要求水準書 40 頁 抜粋）

② プロジェクトチーム

構成メンバー	内容等
浜松科学館 チーフエディター	10月より、1～2週間に1度会議を行い、展示評価ワークショップやモニタリング調査、ボランティアや識者へのヒアリングをもとに、刷新や改良が必要な展示の抽出、新規展示の方向性について検討しました。 3月には、これらを「展示モニタリング報告書」としてまとめ、浜松市へ提出しました。
浜松科学館 サイエンスチームリーダー	
浜松科学館 天文チーム副リーダー	
浜松科学館 RD チームリーダー	
浜松科学館 アテンダントチームリーダー	
浜松科学館 経営管理グループマネージャー	
浜松科学館 事業企画グループマネージャー	
浜松科学館 副館長	
株式会社乃村工藝社（本社） PPP 課	
浜松市 創造都市・文化振興課 主任	

③ モニタリング調査方法と内容

	方法	実施日	内容
A	職員による展示評価 ワークショップ	2022年 10月28日(金) 11月4日(金)	館内全職員を対象とし、「ストーリーブックとの関連性」「学習効果」「ユニバーサル性」「メンテナンス性」「安全性」「楽しさ」等の視点から各展示の評価を行った
B	利用者観察	2022年 10月～11月	職員が各ゾーンに一定時間滞在し、利用者が展示を体験する様子を観察。意図通りに体験ができていないかを「○、△、×」で測るとともに、その展示に触れた人数を計測した
C	ボランティアメンバーへのヒアリング	2022年 12月17日(土)	浜松科学館ボランティアメンバー（3名）を対象に、展示に関するヒアリングを行った
D	識者へのヒアリング	2023年 2月1日(水)	浜松科学館運営委員会の上野征洋委員長をお呼びし、展示更新に関する助言等をいただいた

II 施設の利用状況

1. 年間実績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開館日数	313日
休館日数	52日 (うち8日は保守点検等のための休館)
開館時間	9:30～17:00
	・夏季開館時間延長 9:30～18:00 (7月20日～8月31日)
	・その他イベント等で適宜、開館時間を延長
	・施設貸出 9:30～21:30

2. 施設利用者状況

(1) 利用者数実績

利用者数総数	186,949人
常設展示入場者・プラネタリウム観覧者数	170,385人 91.2%
講座・イベント参加者数	14,254人 7.6%
施設貸出 (ホール・セミナールーム) 利用者数	2,310人 1.2%

(2) 入場者数実績

上段は人数。下段は構成比

常設展示入場者数：170,385人			
年齢別	大人	中人	小人
	81,968人 48.1%	2,954人 1.7%	85,463人 50.2%
種別	個人		団体
	151,750人 89.1%		18,635人 10.9%
学校等団体等利用状況：18,635人			
幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他
107園 4,387人 23.5%	160校 10,464人 56.2%	28校 928人 5.0%	81団体 2,856人 15.3%

3. 利用者目標と達成状況

2022年3月のプラネタリウム機器更新事業による集客効果を見込んだ半面、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、常設展入場者数目標（18万人）については、5.5%減（17万人）としました。新型コロナウイルス第7波の影響（7月～9月）と第8波の影響（12月～1月）が顕著に表れた時期は10%～30%の減少となりましたが、通期的な利用者増による底上げ傾向を堅持し、年度目標を達成することができました。

要因としては、サイエンスショーやミニワーク等の体験型プログラムのニーズがマッチしたこと、プラネタリウム番組の更新頻度を3か月から2か月に高めたことと併せて1年以内の繰り返し利用が定着してきたものとみられます。また、特別展・企画展も集客に寄与しており、特に3月の特別展（ビーコロ展2 in 浜松）の人气が群を抜いています。

月	常設展入場者数（人）				プラネ・大型映像観覧者数（人）			
	目標	構成比	実績	達成率	目標	構成比	実績	達成率
4月	13,000	6.9%	13,396	103.0%	6,500	6.7%	6,560	100.9%
5月	12,000	7.3%	14,013	116.8%	6,000	6.7%	7,053	117.6%
6月	11,000	6.0%	11,090	100.8%	5,500	4.4%	5,842	106.2%
7月	18,000	9.9%	16,016	89.0%	9,000	8.9%	9,146	101.6%
8月	40,000	19.8%	28,075	70.2%	20,000	17.8%	14,548	72.7%
9月	13,000	6.9%	12,694	97.6%	6,500	6.7%	6,069	93.4%
10月	11,000	6.9%	13,069	118.8%	5,500	4.4%	5,676	103.2%
11月	11,000	6.0%	13,939	126.7%	5,500	4.4%	6,304	114.6%
12月	8,000	6.9%	8,924	111.6%	4,000	8.9%	4,639	116.0%
1月	10,000	7.8%	9,037	90.4%	5,000	8.9%	4,175	83.5%
2月	9,000	6.9%	10,125	112.5%	4,500	8.9%	4,139	91.9%
3月	14,000	8.6%	20,007	142.9%	7,000	13.3%	8,371	119.6%
合計	170,000	100.0%	170,385	100.2%	85,000	100.0%	82,522	97.1%

4. 利用料金と収入状況

(1) 科学館利用料金

浜松科学館条例（昭和61年条例第30号）に基づき、利用料金を以下の通りに設定しています。利用料金制度（地方自治法第244条の2第8項・第9項）によって、利用料金は指定管理者の収入として収受し、管理運営業務経費等に充当されています。

区分	常設展入場料			常設展入場料+プラネタリウム1回分観覧料 (大型映像1回分観覧料)			
	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	
通常料金	600円	300円	無料	1,100円	550円	無料	
団体料金	浜松市 湖西市	420円	210円	無料	770円	380円	無料
	その他地域	540円	270円	無料	990円	490円	無料

※70歳以上の方は入場料および観覧料が無料となります。

(2) 利用料金収入実績（科学館入場料、プラネタリウム観覧料）

※後納分の共済組合助成券、わーくんクーポン券の利用料金は本表に含みません。（別表参照）

区分		利用料金
個人	常設展	20,906,400円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	33,377,450円
	観覧券	1,673,000円
	割引	-266,520円
	A 個人総合	55,690,330円
団体	常設展	336,720円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	396,500円
	B 個人総合	733,220円
個人・団体合計 (A+B)		56,423,550円

(別表)

区分	利用人数	利用料金
共済組合助成券（後納分）	1,555人	1,041,800円
わーくんクーポン券（後納分）	391人	117,300円
合計	1,946人	1,159,100円

(3) その他の利用料金

① 年間パスポート

科学への興味関心を深め、コアな利用者を育成するため、繰返し利用（リピート利用）を促す年間パスポートを発行しました。常設展入場に適用できます。

項目	購入者数	料金	科学館入場者数	1人当たり利用回数	
購入者・利用者数	大人	1,266人	1,899,000円	6,105人	4.8回
	中人	10人	7,500円	27人	2.7回
	合計	1,276人	1,906,500円	6,132人	4.8回

② 企画展・特別展・特別イベント

開催規模や内容に応じて設定します。2022年度は夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」、秋の企画展「科学の学園祭 2022」、冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり」、特別イベント「さがしてためしてみらいーら」「さがしてためしてみらいーら 2」、春の特別展「ビーコロ展 2in 浜松」を開催しました。企画展は大人・中人・小人ともに常設展チケットで入場可、特別展は有料（未就学児は無料）としました。

・特別イベント

「さがしてためしてみらいーら」「さがしてためしてみらいーら2」

参加費として冊子1冊につき100円を設定

開催期間	事業名	参加人数	参加費
4/1～12/23 (231日)	さがしてためしてみらいーら	3,504人	350,400円
12/24～3/31 (82日)	さがしてためしてみらいーら2	1,191人	119,100円
計 313日間	合計	4,695人	469,500円

③ その他の料金

催しの実施に際して、材料費等の実費相当額については、利用者から受益者負担分をいただきました。

区分	利用者数	金額
ミニワークショップ等参加者数・料金	16,659人	3,049,900円
みらいーらカード発行数・料金	612人	183,600円
貸出端末利用者・料金	6人	1,200円
合計	17,277人	3,234,700円

5. COVID-19 対策

COVID-19による感染症対策については、昨年度に引き続き制限を継続、浜松科学館来館者のマスク着用に関しては、2022年5月20日付けの厚生労働省の事務連絡、また、2023年2月10日付の厚生労働省の事務連絡を受け、以下の通り行いました。

(1) マスク着用について

	2022年5月20日～2023年3月12日	2023年3月13日～
個人利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県を示す基準に基づき、館内利用の場合はマスク着用を推奨する。 ・推奨であり義務ではないため、着用を拒否する方には会話を控えて利用していただくよう注意を促す。 ・就学前の児童のマスク着用は原則として不要。 ・2歳未満の幼児についてはマスク着用は不要。 	・個人の判断を基本とする。
団体利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・上記個人利用者に準じて、団体の責任者に判断を求める。(科学館としては、一律にマスク着用の要不要を求めない) 	・上記個人利用者に準じて、団体の責任者に判断を求める。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外では原則として、マスク着用を求めない。 ・高齢者や基礎疾患のある方には、マスク着用を推奨する。 	・個人の判断を基本とする。

(2) 館内の制限について

COVID-19による感染拡大防止の観点から、以下の通り利用者人数に制限を設けました。加えて、機械換気設備の適切な作動、各事業プログラム参加者の人数制限、館内の消毒作業により、利用者同士の密接・密集・密閉状態を引き起こさないよう、引き続き最大限留意しました。また、2022年3月17日に決定された「まん延防止等重点措置の終了」（文部科学省：事務連絡）、2023年3月13日よりマスク着用の考え方が見直されたこと等により、以下の通り、入場者数・観覧者数等の制限を撤廃、または緩和しました。

① 入場者数・観覧者数

期 間	4月1日～ 4月28日	4月29日 ～2023年3月12日	2023年3月13日～
入場者数(有料ゾーン滞留者数)	1,300人	2,000人	制限なし
プラネタリウム観覧者数(1回あたり)	130人	150人	190人

② サイエンスショー・ミニワークショップ

◎サイエンスショー

1回10分に時間を短縮し、1日5回の開催を継続しました。

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
11:00	12:00	13:00	14:00	15:00

※密集状態を避けるため、以下の通り、定員を設けました。

(4月1日～2023年3月12日：70席、3月13日～：制限なし)

◎ミニワークショップ

対面での対応、利用者同士の密接状態を避けるため、1階「出口ゲート付近」で行いました。1回あたり5組で、参加者が作り方を見ながら個々に作成する方法で開催しました。2023年3月13日からは制限を撤廃し、1回あたり8組まで参加可能としました。

③ 展示物等の利用

利用停止又は利用の一部停止。(4月1日～2023年3月31日)

◎利用停止

- ・ボイスチェンジパイプ（音ゾーン）
- ・子ども通路
- ・子どもエレベーター（2023年3月13日から、除菌作業を実施しながら利用を再開しました。）

◎利用の一部停止

- ・電子音楽の世界（音ゾーン）：マイクのみ利用停止
- ・バイオメテックス（自然ゾーン）：ヤモリグローブのみ利用停止

④ 食事・カフェ

◎カフェの一部にパーテーションを設置するなど、利用者同士の密接状態を引き起こさないよう留意しました。

⑤ 施設貸出

◎ホール・セミナールームの利用者数の制限

- ・4月1日～2023年3月12日 ホール 125人 セミナールーム 24人（定員の半数）
- ・2023年3月13日～ ホール 250人 セミナールーム 48人

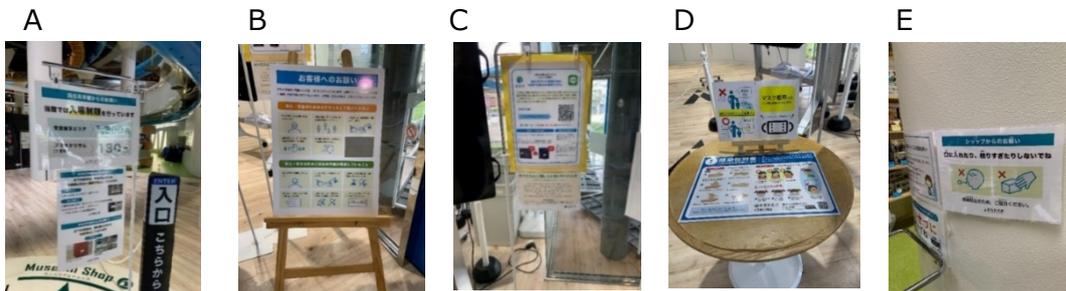
(3) 館内の消毒清掃等

消毒液、飛沫防止シート、パーテーション、非接触型体温計等の設置のほか、展示物、プラネタリウムドーム、手すり等の除菌清掃を行っています。

(4) 広報・掲示物

① 4月1日～2023年3月12日まで掲出しました。

- A 入場制限についてのお知らせ
- B お客様へのお願い（※）
- C はままつ LINE コロナ見守りシステム（2022年12月31日終了）
- D マスク着用手指消毒の励行等、感染症対策のお願い
- E ショップからのお願い



② 2023年3月13日から、入り口に掲出しました。 （中2階みらいーらステージのスクリーンにも投映）

皆さまに安心してご利用いただくために

以下についてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ご利用に際して

<p>手洗・こまめな手指消毒をお願いいたします。</p> 	<p>咳や発熱の症状があるお客様はご来館をお控えください。</p> 
--	---

館内で行っていること

<p>機械換気・消毒液での定期的な清掃を行います。</p> 	<p>ショップのテスターや展示サンプル等を一部撤去します。</p> 	<p>レジガードの設置や、コントロールレーの使用をします。</p> 
---	---	---

Ⅲ 科学館事業

1. 展示運営

常設展示アイテム 91 点と屋外展示、自然観察園が常時良好な状態で利用できるよう管理するとともに、サービス価値を高めるためのさまざまな体験プログラム、学習ツール等を用意して多角的な展示運営事業を展開しました。

フロア	点数	ゾーニング	アイテム			
1階	12点	自然ゾーン	浜松のすがた アクティブ・リサーチ・デスク デジタルスコープで見る 顕微鏡で見る でんけんラボ	いきものの色覚 センサーでとらえる世界 はままつ環境ウォール リアルタイム地震 アースモニター	コレクションウォール バイオメテイクス	
2階	21点	光ゾーン	アクティブ・ライト・シューティング 光のテーブル いろいろな鏡 カラーミキサー 瞳のかんざつ	光ファイバーのしくみ 光通信のしくみ 光ではかる 光を利用する 光で動きをとらえる	目のしくみ 立体に見えるワケ 色当てチャレンジ ゾートロープ 視覚のふしぎ	かけ絵あそび 光の波長と技術 ようこそ LEDの世界へ イ号テレビ 高柳 健次郎 堀内 平八郎
2階	22点	音ゾーン	アクティブ・サウンド・ライブ 弦の動き おんさじっけん ボイスチェンジャー トップラーターブル 耳のしくみ	発声のしくみ どこまで聞こえる？ どう聞こえる？ 効果音をつくらう おでこで聞こう 音でしらべる	音を利用する エコーチューブ 音のしぐさ 音のかたち 響きが変わる部屋	ピアノアクション 電子楽器の世界 山葉 寅楠 河合 小市 梯 郁太郎
2階	20点	カゾーン	アクティブ・パワー・コースター ビジュアルピリヤード パスカルのイス 縦波と横波 砂鉄でお絵かき	水のテーブル 振り子の動き いろいろ発電 電磁誘導テーブル 風のテーブル	メカニカルウォール メカニカルブロック クルマの基本と応用 バイクの基本 EVサーキット	船を動かそう パワーアシストつなひき 鈴木 道雄 本田 宗一郎 川上 源一
2階 3階	10点	宇宙ゾーン	アクティブ・スペース・ミッション 星座を見つけよう スイングバイ ロケットを飛ばそう カミオカンデVR	スペースホットトピック (3F) 月面AR (3F) 笹ヶ瀬隕石 (3F) H 2 Aロケット (模型・3F) 光学式プラネタリウム (3F)		
2階	3点	新技術コーナー	ローム浜松株式会社 原田精機株式会社 静岡大学工学部			
2階	3点	やらまいか テクノロジ コーナー	①マスク機能展示 (株式会社ROKI) 展示期間 2022年2月～7月28日 ②スマート農業展示 (浜松市農業水産課) 展示期間 2022年7月28日～11月2日 ③注染そめ展示 (遠州産地振興協議会：浜松市産業振興課、二橋染工場) 展示期間 2022年11月4日～2023年1月18日			
合計	91点					

屋内施設、屋外施設・展示については、常時、開放されている空間であるため、特に安全で快適な状況を保つよう努めるとともに、さまざまな事業を展開する場として活用しています。

区分	数量	ゾーニング	ファシリティー・アイテム			
屋内	5箇所	屋内施設	2階 キッズ・サイエンス・ランド	中2階 みらいらステージ みらいらテーブル	1階 ものづくりラボ サイエンスラボ	
屋外	8箇所	屋外設備・展示	サイエンスパーク パワーアシスチックハウス サウンドコレクトチェア マテリアルベンチ	芝生広場 バラボラ サイエンス農園 ニュートンのリンゴの木 醍醐寺のクローン桜	デッキ 霧のステージ	自然観察園

2. 企画展・特別展・特別イベント

COVID-19の感染対策を講じ、春の企画展、夏の特別展、秋の企画展、冬の企画展、春の特別展、特別イベントを開催しました。市民が科学に親しむきっかけをつくることに努めています。

名称	開催時期	実施内容
春の企画展 「わたしにとっての文具展」 ※2022年3月19日から開催	4月1日～6日,9日,10日 15日,16日,17日,23日 24日,29日,30日, 5月1日～8日 計23日間 	日常的に使われる文具の機能を科学的に解説したり、地元クリエイターに、使用している文具について取材した記事を展示するなど、浜松科学館ならではの視点で文具を紹介しました。また、さまざまな文具を使用できるワークショップスペースを設け、幅広い年齢層が楽しめるよう工夫しました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 入場者数 (大人・中人・小人) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto; text-align: center;"> 4,813人 </div> ※リピート数 470人
夏の特別展 「みんなでひとりでパズル展」	7月22日～8月31日 計41日間 	夏休み期間にあわせて、パズルをテーマにした訴求力の高い特別展を企画しました。パズルの数学的な解説を行うだけでなく、家族やグループで解くパズルと、ひとりでじっくり解くパズルを差別化して展示することで、パズルに取り組む楽しさを実感してもらえるよう工夫しました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 入場者数 (大人・中人・小人) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto; text-align: center;"> 7,038人 </div> ※リピート数 1,553人
秋の企画展 「科学の学園祭 2022」	10月1日～23日 計23日間 	来場者と学生、学生どうしでのサイエンスを介した交流を目的として、浜松市および近隣の学生たちによる科学活動の発表の場を設けました。また、夏季に実施した「みらいら自由に研究ラボ」の成果をポスターにまとめ展示しました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 入場者数 (大人・中人・小人) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto; text-align: center;"> 1,847人 </div>

名称	開催時期	実施内容		
冬の企画展 「みんなで熱中！ ものづくり」	12月20日～ 2023年1月9日 計15日間 	浜松周辺のメーカー系企業の出展と、コンテストを通したものづくりのプロセス（思案・開発・制作・検証・仕上げ等）の体験で、ものづくりのおもしろさ、奥深さを発見できる催しとしました。 <table border="1"> <tr> <td>入場者数（大人・中人・小人）</td> </tr> <tr> <td>1,171人</td> </tr> </table>	入場者数（大人・中人・小人）	1,171人
入場者数（大人・中人・小人）				
1,171人				
春の特別展 「ビーコロ展2 in 浜松」	2023年3月21日～ 3月31日 計11日間 ※5月7日(日)まで開催予定 	2021年度の春の企画展第2弾。職員が内製したビーコロ装置にビー玉を入れ、ビー玉の動きを追って楽しみながら、落ちる、転がる、跳ねるなどの力学的な面白さを体感できる催しを実施しました。 <table border="1"> <tr> <td>入場者数（大人・中人・小人）</td> </tr> <tr> <td>5,810人</td> </tr> </table> ※リピート数 1,183人	入場者数（大人・中人・小人）	5,810人
入場者数（大人・中人・小人）				
5,810人				
特別展示 「はやぶさ2を知ろう」	6月12日～9月4日 計79日間 	小惑星探査機「はやぶさ2」の特別展示を常設展示内で開催しました。リュウグウから採取したサンプルレプリカの展示や、動画での解説を行いました。 協力：JAXA 宇宙科学研究所プロジェクト はやぶさ2プロジェクト		

名称	開催時期	実施内容		
特別イベント 「さがしてためして みらいーら」	4月1日～12月23日 計231日間 	親子で常設展をより楽しんでもらうために開催しました。常設展示内の5ゾーンそれぞれで、問題冊子の流れに沿って5つの問題を解いていく中で、観察や実験を行うことを促す仕掛けになっています。 参加費として冊子1冊につき100円を設定。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>参加人数（大人・中人・小人）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3,504人</td> </tr> </table> 4月 387人 5月 466人 6月 263人 7月 428人 8月 701人 9月 416人 10月 297人 11月 361人 12月 185人	参加人数（大人・中人・小人）	3,504人
参加人数（大人・中人・小人）				
3,504人				
特別イベント 「さがしてためして みらいーら2」	12月24日～ 2023年3月31日 計82日間 	科学館をより楽しんでもらうための親子向けのツール第2弾です。 参加費として冊子1冊につき100円を設定。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>参加人数（大人・中人・小人）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,191人</td> </tr> </table> 12月 137人 1月 284人 2月 215人 3月 555人	参加人数（大人・中人・小人）	1,191人
参加人数（大人・中人・小人）				
1,191人				
特別イベント みらいーらブックセレク ション展	6月18日～8月31日 計73日間 	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほしい1冊をスタッフが選書し贈呈しました。当選者の読後のメッセージとスタッフのメッセージを本とともにライブラリーに展示しました。 共催：浜松ロータリークラブ 応募人数：53人 本の贈呈：50人		

3. 展示体験プログラム・支援ツール

(1) 展示ストーリーブック

自然を起点とし、歴史・文化との相互作用を経て、力・音・光・宇宙という4つの分野でさまざまな産業が生まれてきた浜松地域のストーリーを、当館の展示に関連付けて紹介するコンテンツです。科学館内に掲示するとともに、ウェブサイトでも公開しています。

(2) 学習活用ワークシート

展示アイテムを利用した子供たちの主体的な学び、深い学びを促進することを目的としています。児童生徒を対象とした学習活用ワークシートを小学校の単元別に展開し、主に団体による学習利用の際に活用されています。

内容：3年生「磁石の性質」・「光の性質」、4年生「月と星」、5年生「電流の働き」・「振り子の運動」、6年生「電気の利用」・「土地のつくりと変化」

(3) 科学学習情報システム

展示に関わる情報と科学的知見の提供を行うとともに、クイズ形式で学びの促進を図る科学学習情報システムを運用しています。クイズの回答によるポイントや個人の体験の記録を残すことで、自宅など科学館の外での振り返りや自分で調べる発展的な学びにつながることを目的としています。ポイントを貯める機能や、チャットボット機能を活用し、アプリあるいはICカード（みらいらカード）を用いた学習支援と展示の利用促進を図りました。獲得したポイント数に応じて、オリジナルグッズや特別体験などの特典を提供することで参加意欲が増すようにしました。

4. 参加型学習

利用者サービスの目標を「創発的な学びの場の構築」として経験価値の向上に努めました。多様な利用者に向けたさまざまな体験プログラムをスタッフ自らが企画・実施し、身近な事象から宇宙にまで幅広く興味関心が喚起されるよう図りました。いずれも他の類似施設で行われているものより大規模な仕掛けで参加機会も多く、利用者の科学への関心を呼び起こし、思い出や記憶に残る浜松科学館ならではの人気プログラムとなっています。

名称	実績	内容
科学学習情報システム	アプリ登録数 655 人 カード登録数 714 人 (合計) 1,369 人	来館者数の増加に伴い、昨年度よりいずれの登録者数も増加しています。ポイントの蓄積を楽しまれている方が多く、館への愛着醸成や再来館を促すツールとしての効果が見られます。アプリは公式 Web サイトと連動し、浜松科学館に関する情報を取得できるツールとしても機能しています。
アクティブ展示解説	実施回数 1日0～18回 798回 参加者数 4,900人	5ゾーンの展示アイテムを活用して、利用者とスタッフがコミュニケーションをとることができる展示解説を行いました。平日に2回、休日には4回ずつを目安に、タイムリーなノーベル賞の話題を織り交ぜたり、でんけんラボを開放したり、多くの方に体験して頂けるよう創意工夫をしながら実施しました。夏の特別展の会場内でもピタゴラスの定理の数学的な面白さを手製のパズルで紹介しました。
サイエンスショー	実施回数 1日5回 1,560回 参加者数 51,110人 (1回平均33人参加)	みらいーらステージで大規模に行っているサイエンスショーは、科学館のメインコンテンツとして利用者の人気プログラムに定着しました。演者と参加者がショーを介して交流する中で、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムとしています。今年度は COVID-19 感染拡大防止の観点から、1回10分のプログラムを1日5回、3種類ずつ実施しました。
	実施回数（夜の科学館） 1日2回 24回 参加者数 516人 (1回平均22人参加)	毎月第3金曜日に開催した「夜の科学館」にあわせて、大人向けのサイエンスショーを実施しました。日中の時間帯に行うサイエンスショーと比べて、原理の解説をより詳細にするなどの工夫を加えたものです。科学館が大人でも楽しめる場所であるという印象を少しずつ浸透させていきます。

名称	実績	内容
ミニワークショップ	実施回数 1日1回 313回 参加者数 10,386人 ※うちミニワーク引換券利用者 172人	10～15分程度で体験できる、実験や工作などのプログラムを行いました。およそ2週間ごとに内容を入れ替え、コンテンツの鮮度を保ち、リピート参加を促進しています。加えて、科学館ボランティアが参画しやすく、利用者との交流の場としての役割も定着しました。
特別ミニワークショップ	実施回数 2回 8/2 浜松市教育委員会理科部会研修会 69人 8/22 高文連自然科学専門部 45人	研修会を実施した後、特別ミニワークショップや実験工作のワークショップ、常設展見学、生解説プラネタリウム観覧、電子顕微鏡を使った解説などを体験していただきました。
企画展 ミニワークショップ	通常のプログラムとは別に各企画展に関連したミニワークを実施しました。 実施回数 1日1回 23回 参加者数 280人	春の企画展「わたしにとっての文具展～つかう、つくる、つたえる～」 『熱で変化！感熱紙カード』を実施しました。感熱紙に熱を加えると黒色に変化する性質を、絵を描きながら学んでもらいました。
企画展 コンテスト	参加型の企画展でものづくりのコンテストを実施しました。 実施回数 1日4回 15回 参加者数 227人	冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり」の中で「誰よりも遠くへ」をテーマにコンテストを実施しました。指定された材料で遠くに移動するものを工作して、競い合いました。
教室・講座・イベント (サイエンスラボ、ものづくりラボ ほか)	実施回数 72回 参加者数 11,397人	今年度も昨年度に引き続き、時間の短縮、定員の削減、野外での実施など感染対策を十分に施し、現在の環境で出来る内容（例：15分で科学実験・自然観察、105歩で生き物観察、化石探し体験、火おこしに挑戦など）を考案、実施しました。
合計	実施回数 425回 参加者数 22,404人	

5. プラネタリウム

(1) 投映スケジュール

回	平日（長期休暇を除く）	土曜・日曜・祝日・長期休暇期間
1	10:00～10:45 事前予約団体	10:30～11:10 キッズプラネタリウム
2	11:30～12:15 事前予約団体	11:40～12:35 生解説プラネタリウム
3	13:00～13:45 事前予約団体	13:15～13:55 大型映像
4	14:30～15:10 生解説プラネタリウム	14:30～15:25 生解説プラネタリウム
5	15:50～16:45 大型映像	15:50～16:30 大型映像
6	17:50～18:30 特別投映（毎月第3金曜日）	—————
7	18:50～19:30 特別投映（毎月第3金曜日）	—————

(2) 投映番組

① 生解説プラネタリウム

当日の星空解説とテーマ解説を、スタッフがすべて生解説することによって、一方的ではなく双方向のコミュニケーションを重視した投映を展開しました。テーマ解説部分では、企画・シナリオ・作画・動画制作・編集・スクリプト制作などの工程をスタッフが内製化し、宇宙天文に関する話題をタイムリーに提供しました。

また、今年度は「七夕」だけでなく、「クリスマス」に関連するテーマ解説を追加し、季節感を強調することによって、観覧率を上げることに成功しました。

そして、当館の特徴である地域に根ざした投映を目指し、浜松市動物園の協力を得てテーマ解説を制作しました。2023年が「うさぎ年」であることから、「うさぎ座」等を紹介するとともに浜松市動物園のうさぎの動画をドームいっぱい投映し、好評を博しました。

【テーマ】

投映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
4月1日～5月31日	「星がキラめく街“浜松”～遠州のからっ風ときらきら星～」 浜松地域に吹く「遠州のからっ風」と関係のある星の瞬き。キラキラと輝く星空について解説。	85回	5,672人
6月1日～7月7日	「星まつり七夕」 星の祭りである7月7日。 古今東西、さまざまな七夕を紹介。	42回	2,967人

放映期間	テーマ内容		回数	観覧者数
7月8日～9月30日	「宇宙へGO!」夢の宇宙旅行 少しずつ身近になってきた宇宙旅行。 その現状を解説。		134回	12,002人
10月1日～11月30日	「幻のうなぎ座」 昔はもっと多くの星座が考えられていた。88星座制定100周年の今年、その歴史や幻となった星座たちを紹介。		73回	3,363人
12月1日～12月25日	「星降るクリスマス」 あまり知られていないツリーの起源や “クリスマスの星”について解説。		30回	2,030人
12月26日～ 2023年2月28日	「夜空に隠れたうさぎ」 2023年は卯年。夜空に隠れたうさぎ とともに干支に関する豆知識も紹介。 協力：浜松動物園		75回	3,799人
2023年3月1日～ 3月31日	「日本の反対側の星空～南半球の 星空を見よう～」 日本の反対側から見える星を紹介。		47回	3,301人
合計			486回	33,134人

② 大型映像

プラネタリウムドームを有効活用し、科学分野の大型映像を上映することで科学への興味・関心を高めました。2022年3月からは新しくなったプロジェクターでより明るく美しい映像を投映しました。

【上映コンテンツ】

上映期間	コンテンツ内容	回数	観覧者数
4月1日～9月30日	「ハナビリウム」 花火師たちがつないできた文 化と歴史の物語を紹介する番組。 面が花火に包まれる圧巻の映像。 	192回	11,837人
7月16日～ 2023年3月31日	「水の惑星」星の旅シリーズ 死チ、モルディブ、ニューカレドニア・ いのちあふれる海。楽園地球から星 空を望み、星の世界に水を探す旅。 	294回	12,833人
合計		486回	24,670人

③ キッズプラネタリウム

小学校低学年以下の児童が、家族と楽しめる星空生解説番組を、通常より短い30分間で実施しました。投映当日の夜に、浜松で見られる星空案内と来場日の誕生日星座を生解説で投映することで、毎月内容が変わり、いつ来館しても新しい発見があるようにしました。

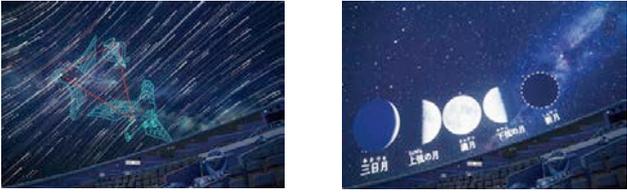
投映期間	投映内容	回数	観覧者数
4月1日～ 2023年3月20日	「こんやのおほしさと おたんじょうびのせいざ」 今夜、浜松で見られる星空案内お よび来場日の誕生日星座や神話な などを紹介。 	156回	12,104人
2023年3月21日～ 3月31日	「さがそう！さんかくのかたち」 今夜見られる星空とともに、明るい 星をつないでできる「冬の大きな三角」 や「春の大きな三角」の探し方を紹介。 	11回	1,218人
合計		167回	13,322人

テーマ（星座）	投映期間	テーマ（星座）	投映期間
おひつじ座	4月1日～4月19日	さそり座	10月23日～11月21日
おうし座	4月20日～5月20日	いて座	11月22日～12月21日
ふたご座	5月21日～6月20日	やぎ座	12月22日～1月19日
かに座	6月21日～7月22日	みずがめ座	1月20日～2月18日
しし座	7月23日～8月22日	うお座	2月19日～3月20日
おとめ座	8月23日～9月22日	おひつじ座	3月21日～3月31日
てんびん座	9月23日～10月22日		

④ 事前予約団体を対象とした投映

小学校向けに、理科の授業カリキュラムに合わせた学習投映を行いました。プラネタリウム機器更新に合わせて、小学4年生向けと小学6年生向けプログラムの構成等を改良しました。加えて、理科学習以外での利用にも対応するため、幼稚園・保育園や小学校低学年向けのスタンダードプログラム2種類（ショート：約25分間、フル：約30分間）を今年度のキッズプラネタリウムの内容をベースとしたものに変更しました。生解説の特徴を活かし、スタッフが臨機応変に解説内容を変えることで幅広い年齢層に合わせた投映となっています。

投映期間：4月1日～2023年3月31日

団体	投映内容	団体数	観覧者数
小学校	小学校向け学習投映 スタンダードフル スタンダードショート 理科学習小学4年 理科学習小学6年 大型映像 	94 団体	5,507 人
幼稚園・保育園等	幼稚園・保育園向け星空生解説番組 スタンダードフル スタンダードショート 	64 団体	2,524 人
中学校・高等学校 その他	その他団体向け投映 スタンダードフル スタンダードショート 理科学習小学4年 理科学習小学6年 理科学習中学生以上 大型映像 特別投映	24 団体	669 人
合計		182 団体	8,700 人

(3) プラネタリウムの利用促進

- ・ プラネタリウムドームを活用したイベント等の開催（特別投映）

利用者層の拡大を目指し、毎月第3金曜日に「みらいーら 夜の科学館」を開催しました。その主たるプログラムとして、大人（高校生以上）限定の特別投映を行いました。昨年度実施して大好評だった「スターフライト」の続編となる「シーズンⅡ」を旅する国を新たにして行いました。世界各国の星空を巡るバーチャルツアーを楽しんでもらえるよう、観覧者には「パスポート」を配布し、毎回、目的地別にデザインされたスタンプを押す演出を施しました。リピートを促進し、6回以上の観覧者には記念品を贈呈しています。12回全て観覧された人数が昨年度の2倍以上となり、高いリピート率となりました。（記念品協賛：株式会社フジドリームエアラインズ）

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
4月～2023年3月 （毎月第3金曜日） 2回投映 ① 17:50～18:30 ② 18:50～19:30	特別投映「STAR FLIGHT seasonⅡ」 世界の星空をご案内する大人限定のトラベルプラネタリウム 4月…アメリカ 5月…チリ 6月…ボリビア 7月…イギリス 8月…スペイン 9月…ケニア 10月デンマーク 11月…モルディヴ 12月…シンガポール 1月…タイ 2月…ニューカレドニア 3月…ニュージーランド	24回	2,696人



6. アテンダント

① 業務の概要

利用者に対し適切な案内を行い、顧客起点の接客や確実な発券業務により、利用者満足度を高めるよう努めました。随時、業務マニュアルに基づく研修を行い、スタッフ各人が高いサービス水準の維持、向上を図っています。また、学習利用団体等の予約に際しては、申込や下見の受付、問い合わせなどの窓口を一元化し、状況に応じた、利便性の高いスピーディーな対応を行いました。

② 業務実績

◎1 階インフォメーションにおける受付・案内業務

業務	内容
来館者の誘導、案内、受付業務	丁寧かつ的確な来館者の誘導や案内に努めました。また、団体利用の申込受付や下見に際しては、できるだけ利用時の不明点を解消できるよう対応しました。 また、利用者視点での臨機応変な対応を心がけ、利用者一人一人に合った最適なサービスの提供を目指しました。
発券業務	常設展入場料、プラネタリウム観覧料等の利用料金の徴収（減免手続や領収書発行等含む）やチケットの発行、年間パスポートの新規発行や更新手続き、プラネタリウムの残席数の管理、各種割引券への対応、提携駐車場チケット等の配布を行いました。また、COVID-19 対策の一つとして、非接触対応ができるクレジットカード、QRコード決済を導入しています。
科学学習情報システム端末貸出業務	科学学習情報システムの貸出端末利用者への対応、貸出料金の徴収、使用方法の説明を行いました。
情報提供業務	周辺及び市内の文化施設や関係機関に関する情報提供等を行いました。特に、利用者からは、駅へのアクセスや周辺飲食店についての質問が多く、パンフレット等を活用して積極的な対応をしました。また、インフォメーションのツイッターアカウントを開設し、館内のイベントや地域の情報を投稿しました。
その他業務	来館者に、より楽しんで利用していただくため、1階のインフォメーションカウンター周りに、季節の飾りつけを行いました。また、YesNoチャート（英語）を作成し、日本語を母語としない利用者の方にも対応できるよう、多言語で作成したプラネタリウムの注意事項等を適宜配布しました。 （英語・ポルトガル語・中国語） 団体向けに配布する「利用時の案内」を修正し、配布しました。



◎プラネタリウムにおける誘導・案内、安全管理業務

科学館3階のプラネタリウムドーム内で、観覧者の誘導、案内および安全管理を行いました。

業務	内容
チケット確認	観覧券の確認および観覧者数のカウントを行いました。
誘導案内	座席への誘導および出口への誘導を行いました。また、観覧者に対しドーム利用上の注意点等の説明を適宜行いました。
安全管理	非常時の避難誘導を含めた、番組投映中の場内の安全管理に取り組みました。また、避難誘導訓練を行い、観覧者の安全確保に努めています。

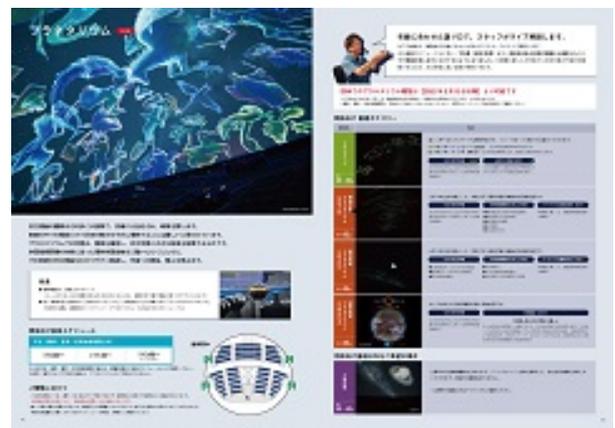
7. 連携協力事業

(1) 学校等との連携

科学館の特長を活かした効果的な学習を、浜松市教育研究会理科研究部や学校の先生方と連携して取り組み、学校団体が利用しやすい環境の確保に努めました。また、浜松市教育研究会理科研究部や校長会にも積極的に出向き、学校団体の学習利用を依頼しました。

① 学校団体の学習利用の推進

展示室の見学とプラネタリウムの学習投映を基本とした学校等の団体向けのプログラムを設けて、学年や学校側の諸条件に合わせて選択できるようにしています。『浜松科学館 学習利用ガイドブック』（A4判 19頁）を科学館ウェブサイトにも掲載しています。



また、浜松科学館ニュースレター「COMPASS」を、令和2年度から引き続き、浜松市の全小中学校、湖西市、磐田市、袋井市、森町の全小学校児童に教育委員会経由で配布し、一層の周知を図りました。なお、掛川市は令和3年度に教育委員会からメールでのデータ配信に切り替わりました。

区分		2022年度		2021年度		2020年度	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
小中学校	浜松市	107校	6,163人	69校	4,083人	53校	4,606人
	県内他市	73校	4,768人	73校	4,584人	46校	3,437人
	県外	8校	461人	2校	155人	1校	42人
特別支援学校	県立	14校	229人	10校	150人	1校	42人
	県外（国立含む）	3校	64人	1校	5人	0校	0人
高等学校	県内	7校	257人	8校	236人	0校	0人
	県外	2校	70人	0校	0人	3校	509人
幼・保育園	浜松市	90園	3,746人	57園	3,125人	38園	2,560人
	県内他市	16園	569人	0園	0人	4園	221人
	県外	1園	72人	0園	0人	0園	0人
その他団体(専門学校等)		55団体	2,236人	18団体	612人	4団体	112人
合計		376団体	18,635人	238団体	12,950人	150団体	11,529人

② 学習利用にあたっての教員との連携・協力

教員・引率者の相談や実地踏査（下見）に対応し、学習効果の高い授業の実施を支援しました。児童・生徒が展示を活用して主体的に学ぶことを支援するワークシートを用意し、ウェブサイトダウンロードできるようにしています。また、リバージオモデル、浜松（天竜川）の岩石学習キット等の教材貸出の対応も行っております。

③ 出張科学館（出張プログラム）の実施

今年度はさまざまな演目のサイエンスショーを中心に、市内小学校へのアウトリーチ活動を行いました。

月 日	学校名	参加人数	実施内容
6月16日	浜松市立芳川北小学校	25人	4～6年生 回転のサイエンスショー
7月7日	浜松市立西小学校	130人	3年生(69人)と4年生(61人) 風船のサイエンスショー
9月15日	浜松市立与進北小学校	30人	4～6年生 空気のサイエンスショー
11月1日	浜松市立葵西小学校	30人	小学校クラブ活動 燃焼、色変わりのサイエンスショー
1月27日	浜松市立東小学校	20人	4～6年生 科学クラブ 液体窒素のサイエンスショー

④ 作品展、表彰式に関する業務

小・中学校の児童・生徒の理科研究作品等について、関係団体との連携・協力により、作品展を開催しました。また、今年度はCOVID-19感染拡大の懸念により授与式を中止し、優秀賞を受賞した生徒の学校を直接訪問し、賞状を手渡しました。（参照：P50 VIII 資料2「2021年度イベント・講座実施状況」）

名 称	開催時期	場 所	実施内容
浜松市小・中学生理科自由研究作品展	9月10日～21日	浜松科学館 ホール	浜松市教育研究会理科研究部と共催。
第3回小・中学生「発明くふうコンテスト」	9月23日～25日	浜松科学館 ホール	浜松経済クラブと共催。
第3回小・中学生「発明くふうコンテスト」館長賞表彰	11月22日	浜松市立赤佐小学校	館長賞を受賞した生徒の学校を館長が訪問し、同学校にて表彰しました。

⑤ 児童・生徒等に対する相談の実施

小・中学校の児童・生徒をはじめとする市民の科学や理科に関する相談に対し、助言等を行いました。

(計 19 件)

月日	担当	質問・相談内容/方法	対応・回答
4月21日	サイエンスチーム	(来館) 浜松科学館のSDGsへの取り組みについて	袋井市私立周南中学校が来館し、科学館の事業の紹介、日々の取り組み（節電など）について資料を用いて、解説しました。
5月18日	サイエンスチーム	(来館) 科学館の仕事について	清水町立清水中学校が来館し、科学館の仕事に関しての複数の質問について対面で回答しました。
7月3日	サイエンスチーム	(来館) モーターでの発電について	モーターを使った発電機の作製方法の検討、発電機についてのレクチャーを行いました。
7月27日	サイエンスチーム	(来館) 地衣類の同定方法、呈色反応の実験方法	ミニガイドブック「おそと de みらいーら地衣類編」を参考にサイエンスパークで観察しながら同定ポイントをレクチャーしました。
7月27日	サイエンスチーム	(来館) クスノキのダニの観察方法	観察方法を指南し、自然ゾーンのデジタルスコープで観察していただきました。
7月31日	サイエンスチーム	(来館) 釣った魚の出汁について	実験方法の指導を行いました。
8月1日	サイエンスチーム	(来館) イ号テレビを学園祭で再現したい（静岡県西遠女子学園）	イ号テレビの展示を見学しながらの説明、学園祭展示への助言をしました。
8月3日	サイエンスチーム	(来館) レアメタルについて	身近な道具の中にあるレアメタルについての講義を行いました。
8月4日	サイエンスチーム	(来館) 気象について	最近の異常気象や線状降水帯ができるわけなどを解説、自由研究への助言を行いました。
8月6日	サイエンスチーム	(来館) 職業インタビュー	憧れの職業の人へインタビューする中学校の課題の一環。学芸員についてのインタビューを受けました。
8月12日	サイエンスチーム	(来館) 総合学習の課題対応、地域の観光について	グループで地域の観光をまとめる中学校の課題の一環。科学館を観光地として取り上げ、発表する。これらに対するインタビューを受けました。
8月14日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 地衣類の同定	写真を見ながら地衣類の同定ポイントの講義を行いました。

月日	担当	質問・相談内容/方法	対応・回答
8月14日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 岩石の同定	天竜川、大井川、安倍川、狩野川より採取した岩石の同定を図鑑やサンプルを見ながら一緒に行いました。
8月14日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 身のまわりの不思議について	小学2年生の児童が身の回りに不思議に思ったことをまとめており、それらに関する助言をしました。(例：なぜ雨が降るのなど)
8月23日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 ピアノの音について	ピアノのヘルツや水盆の水の観察方法について講義を行いました。
8月23日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究の相談 アオスジアゲハについて	自由研究のまとめ方について講義を行いました。
10月20日	加藤、上野、天井	(電話) イ号テレビについて (当時の仕様と異なる理由など)	質問内容が専門性の高いものであったため、静岡大学・高柳記念未来技術創造館の協力をいただき、後日メールで回答を行いました。
11月19日	サイエンスチーム	(電話) 同日2件 オナモミの趣旨の採集場所について	大まかなオオオナモミの生息場所を口頭で伝えました。
1月6日	サイエンスチーム	電話 キタキチョウの飼育方法について	成虫のエサの種類や与え方などを紹介しました。

⑥ 学校・公的機関の研修、実習等への対応

学校や教育委員会等の教育関係機関等の公的機関が行う研修、実習等を積極的に受け入れています。

(参照：P55 VIII 資料2「2022年度イベント・講座実施状況 教育機関関連事業」)

月日	研修・実習
4月8日～8月24日	長期企業内留学(1人) 浜松学院大学
6月15日・16日	生涯学習施設職員およびボランティアのための実技研修会(108人)
6月21日・22日	中学生の職場体験(1校7人) 細江中学校
8月2日	浜松市教育研究会理科部会研修会(66人)
8月3日・4日 9日・10日	中堅教諭等資質向上研修(2人) ・静岡県立浜松北高等学校1人 ・磐田市立竜洋東小学校1人
9月13日～25日 10月1日、2日(補講)	大学生の博物館実習(7人) 高知大学2人、愛知淑徳大学1人、滋賀県立大学1人、京都女子大学1人 名城大学1人、都留文科大学1人

月 日	研修・実習
10月25日	浜松市社会教育委員会 視察・会議 (9人)
10月27日	浜松市新規採用教職員研修 (24人)
① 11月1日 ② 11月10日・11日 ③ 11月24日、25日	中学生の職場体験 (8校 計78人) ① 積志中学校 (10人) ② 中郡中学校 (5人) 富塚中学校 (9人) 曳馬中学校 (5人) 雄踏中学校 (6人) ③ 北部中学校 (13人) 南陽中学校 (14人) 蛸塚中学校 (16人)
① 11月1日 ② 11月25日	職業インタビュー (2校 25人) ①豊田市立高丘中学校 1人 ②磐田市立向笠小学校 24人
12月1日、2日	中学生の職場体験 (1校 7人) 浜松西高等学校中等部
12月9日	静岡県高等学校理科教育研究会西部支部地学部会研修会 (7人)

⑦ 幼稚園・保育園の利用への対応

幼稚園・保育園に対し、幼児向けの投映等を実施しました。(参照：P18「5 プラネタリウム」)

(2) 教育関係機関等との連携

浜松市内の教育関係機関、研究機関、企業等と連携し、講座や展示教材の貸出などを行いました。

名 称	開催時期	場 所	実施内容
浜名湖花フェスタ 2022	4月2日	はままつフラワーパーク	はままつフラワーパークでタンポポとスギの花粉を生物顕微鏡で観察をしました。ボランティアも3名活動し、花粉の分散方法の違いによって花粉の形や量が変わることを参加者に解説しました。
専門学校ルネサ ス・ペット・アカデミー 講義	5月12日、19日	浜松科学館 サイエンスライブラリー	科学館で働く学芸員の仕事について、教育普及を行う上での工夫や、アイデア・展示コンセプトをテーマにした課外授業を実施しました。
みらいーら自由に研 究ラボ	6月5日、11日、12日 25日 7月30日、31日	浜松科学館 でんけんラボ	参加者が材料を持ち込み、デジタルカメラや電子顕微鏡で拡大観察しました。また、10月に実施した秋の企画展「科学の学園祭」で自由に研究ラボの成果ポスターを展示しました。

名称	開催時期	場所	実施内容
WRO チーム練習	8月2日～26日	浜松科学館 ものづくりラボ	WRO (World Robot Olympiad) の決勝大会に向けて、小学生の浜松代表チーム2組が当館で練習を行いました。のべ61人利用。
高等学校文化連盟(高文連) 自然科学専門部 研修会	8月22日	浜松科学館	常設展見学、生解説プラネタリウム観覧(一般投映)、電子顕微鏡を使った解説と実験工作の体験を実施しました。
河合楽器 ピアノアクションリニューアル 記念セレモニー	9月13日	浜松科学館 常設展示音ゾーン	ピアノアクション展示リニューアルに関するセレモニーを常設展示場内音ゾーンにて開催しました。河合楽器取締役副社長はじめ18名が出席しました。
教材貸し出し	9月15日～10月6日	星槎国際高津尾学校 浜松学習センター	「天竜川岩石標本A」(16種) 「天竜川岩石標本B」(16種)を貸し出ししました。
秋の企画展 「科学の学園祭」	10月1日～23日	浜松科学館	浜松市および近隣の学生たちによる科学活動の場の提供。 ①科学実験・工作のブース出展 ②サイエンスショーの実演 ③自由に研究ラボ成果ポスター展示
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 講義	10月13日、27日	浜松科学館 サイエンスライブラリー	学芸員の仕事について、館内研修や模擬的な野外観察会を通して体験しました。
第7回小・中学生 理科研究プレゼンテーションコンテスト	10月30日	浜松科学館 ホール	トップガン教育システム協議会主催の、小中学生による自由研究プレゼンテーションコンテストが浜松科学館を会場として行われました。
Hamamatsu Micro Maker Fair2022	11月5日	浜松科学館 ホール	静岡県および近隣のメイカーが参加する地域密着型のMaker Fair。科学館からは「浜松まちなかダービー」で展示したサッカーゴール(赤外線センサー利用)を出展しました。
浜松日本語学院 展示解説	12月9日、14日	浜松科学館	展示ストーリーブックに沿った展示解説に加え、浜松の歴史や文化も含めて常設展示場内を案内しました。

名 称	開催時期	場 所	実施内容
ワークピア磐田・磐田市共催「いわたサイエンスカレッジ2022」	12月17日	ワークピア磐田	磐田市から協力依頼を受け、小学生を対象とした科学のイベントに上野 CE が講師として協力し、静電気の実験・工作をしました。
第10回 MATH やらまいか決勝大会	12月10日	浜松科学館ホール	トップガン教育システム協議会の MATH やらまいか決勝大会が浜松科学館を会場として行われました。
浜松未来総合専門学校 連携課題講評会	12月15日	浜松科学館 セミナールーム	浜松デザインカレッジの2年生40人を対象に連携授業を開催しました。「大人を対象にした常設展示のPR」というテーマで学生がグラフィック作品を制作し、職員が講評を行いました。（作品展示会は2023年度「科学の学園祭」にて掲出予定）
静岡県立農林観協専門職大学主催「アグリフォーレ・サイエンスカフェ」	1月14日・3月11日	磐田市新造形創造館	静岡県立農林環境専門職大学が初めて開催した「サイエンスカフェ」に、企画・広報面で協力しました。次年度は浜松科学館での開催も計画されています。
やらまいかテクノロジーコーナーの設置	① 4月～7月 ② 7月～11月 ③ 11月～2023年1月	浜松科学館 常設展示室 2F やらまいかストリート	① 株式会社 ROKI「マスク機能展示」 ② 浜松市農業水産課「スマート農業」展示 ③ 遠州産地振興協議会（浜松市産業振興課）・二橋染工場「注染そめ」展示



河合楽器 ピアノアクションリニューアル
記念セレモニー



注染そめ展示



浜松日本語学院展示案内

(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）

① 研究機関等との連携

科学に関連した研究機関との連携を行いました。

名 称	月 日	内 容
ミニガイドブック「おとと de みらいーら地衣類編」の作成	4月20日	ミニガイドブック地衣類編を作成し、ウェブ公開しました。サイエンスパークで観察できる地衣類7種を生息場所とともに紹介し、大村嘉人 博士（国立科学博物館）に監修いただきました。
ヒョウモントカゲモドキの電子顕微鏡観察	5月23日	磐田南高校生物部の研究協力として、ヒョウモントカゲモドキやオトカゲの皮膚の表面構造を電子顕微鏡で観察しました。研究成果は2022年度山崎自然科学振興財団山崎賞を受賞しました。

② 全国の科学館、博物館との連携・協力

当館が加盟している日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会等の会合に参加しました。また、他の科学館、博物館との連携等を図りました。

名 称	開催時期	実施内容
巡回展	11月25日～ 3月31日	2022年に開催した夏の企画展「身近で気になる昆虫展」の巡回展を北杜市オオムラサキセンターで実施しました。（2023年度も継続） 共催：北杜市オオムラサキセンター
第29回全国博物館館長会議	7月6日	全国の国公立の博物館長が参加し、新たな博物館法に基づき、博物館をめぐる課題について検討しました。オンライン開催。
令和4年度第1回全国科学博物館協議会総会	7月7日	協議会加盟館園が出席し、1日目総会、2日目は施設見学（港区立みなと科学館および気象科学館）が行われました。オンラインにて館長が総会のみ出席しました。
令和4年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会	7月28日	東海地区の協会加盟館園が参加し、総会、施設見学会（静岡市歴史博物館）が行われ、館長が出席しました。
第70回全国博物館大会	11月16日～ 18日	（講師） 全国博物館大会が高知市内で開催され、副館長、GMが出席しました。副館長は「運営・挑戦する地域の文化施設」をテーマとした分科会の講師として浜松科学館の取り組みを紹介しました。

名称	開催時期	実施内容
全国理工系学芸員展示研究大会	1月20日	(発表) 全国の理工系学芸員による研究大会にオンラインで参加し、浜松科学館の展示リニューアルについて上野 CE が発表しました。
全国科学館連携協議会 東海ブロック研修会	2月9日	(発表) 研修テーマ「企画展のオモテとウラ」 2021年度開催「身近で気になる昆虫展」を例に自ら作り上げる多様な利用者を意識した科学教育コンテンツについて、サイエンスチームリーダーの小粥が発表しました。
全国科学博物館協議会理事会・総会及び第30回研究発表大会	2月15日、16日	大会テーマ「誰もが利用できる包摂的な科学博物館～人々のニーズや社会の要請に応える」 浜松科学館を会場に、科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議しました。館長の歓迎挨拶、上野 CE の基調講演、天文チームリーダー雨森のプラネタリウム解説など主催者・開催館として大会運営に全面的に協力しました。

③ 他機関や他のイベントとの連携による賑わい創出

浜松こども館と連携した夏休みイベントの開催や、大河ドラマ館に掲出する手ぬぐいの制作を、他機関と共催で実施しました。

名称	開催時期	実施内容	
ペーパーサッカーボールでゴールを決めよう!	8月18日・19日	浜松こども館と合同で、参加者がサッカーボールのペーパークラフトを2つ作り、両館内に設置したゴールへ入れる連携イベントを開催しました。 (参加者 42 人) 共催：浜松こども館	
大河ドラマ館に飾る注染そめ手ぬぐいを作ろう!	11月12日・13日	地場産業である浜松注染そめやリモネンの化学反应用いたオリジナル家紋づくりを通して、大河ドラマ館へ展示する手ぬぐいを制作しました。 (参加者 60 人) 共催：遠州産地振興協議会 協力：浜松市産業部 観光・シティプロモーション課	

名 称	開催時期	実施内容
発明とアイデア展	11月19日・20日	浜松発明研究会によるアイデアあふれる発明品を出口ゲート付近にて展示会を開催しました。メンバーの方々による説明や実演が行われ、2日間で836人が立ち寄りました。

④ 県内・市中心部のイベントとの連携

COVID-19 感染予防対策のため、市中心部のイベントはほとんど実施されませんでした。昨年度に引き続き、下記サービスの利用施設にエントリーし、県内観光者の利用促進や中心市街地への回遊性を高めるための取り組みを推進しました。

【観光優待券対象施設】

- ・浜松・浜名湖ツーリズムビューロー観光優待券・まるっとパス（常設展入場料1割引）
- ・ふじのくに地域クーポン、regionPAY×しずおか PAY クーポン（ミュージアムショップで利用可）

⑤ 近隣駐車場の提携利用

提携駐車場（イタクパーキング※2019年12月1日から提携）利用者に一定額（150円）の割引チケットを提供しました（※常設展・プラネタリウム観覧者対象）。

年 度	2022年	2021年	2020年	2019年
利用枚数	3,260枚	2,246枚	1,600枚	413枚

8. ボランティア活動支援

科学館活動のパートナーとして市民ボランティアと連携・協働し、科学を楽しむ地域文化の創造を目指すとともに、利用者が自らの興味・関心や学びを深める自主的な活動をする「場」を提供します。

① 募集・面談・登録・研修

2022年4月1日～5月31日に募集を行いました。6月11日、12日に個別に面談したのち、新規で一般ボランティア4人、ジュニアボランティア（中学生・高校生）11人が登録、6月25日、26日のオリエンテーション・研修を経て、7月1日から活動を開始しました。

※2022年度登録数：一般ボランティア13人、ジュニアボランティア26人 計39人

② ボランティア活動の場

来館者とのコミュニケーション、常設展示案内、ミニワークショップやイベントの運営補助、参加者支援をスタッフと共に実施しました。自然観察園の整備活動では、景観の美化、樹木の維持管理として低木の伐採や清掃を実施するとともに、自然観察園内の生物の観察、職員による講義などに参加しました。また、今年度はボランティアが自ら企画・運営するイベント（「科学の学園祭」でのジュニアボランティアブース出展、サイエンステーブル「Mite Mite（ミテミテ）」）を実施し、多くの来館者と交流しました。



(展示案内)



(イベントでの参加者支援)



(ミニワークショップ参加者支援)



(自然観察園の活動)



(自然観察園の活動：生き物観察)



(Mite Mite)

③ 自主イベントの企画・運営

- ・10月15、16日
秋の企画展「科学の学園祭」 ジュニアボランティアブース出展
- ・10月15、22日、11月19日、12月17日
Mite Mite「これはなに？ルーペで見つけよう」
- ・1月14、28日、2月11、25日、3月11日
Mite「 Mite「融ける、固まるを見よう」
- ・3月19日
ボランティア交流会ワークショップ
工作「みんなで糸電話」
実験「1弦ギター、アルミパイプで音楽をつくろう、塩のダンス」



④ ボランティアブログの開設 11月

浜松科学館ボランティアの活動を、多くの方に知っていただくことを目的として、ボランティアブログを開設しました。ボランティア担当職員で運営しています。

⑤ 活動実績

年間で延べ 103 日、延べ 219 人が参加しました。

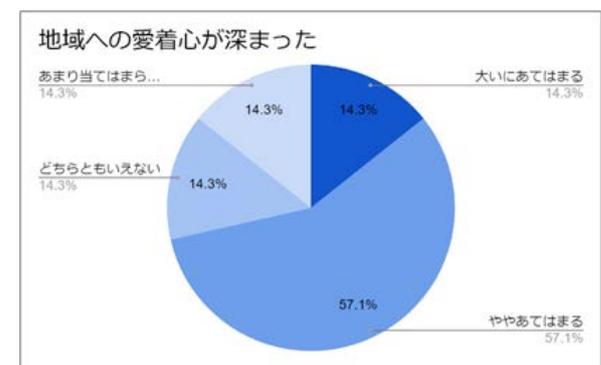
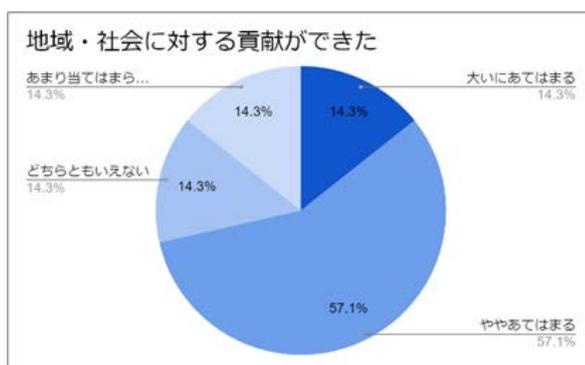
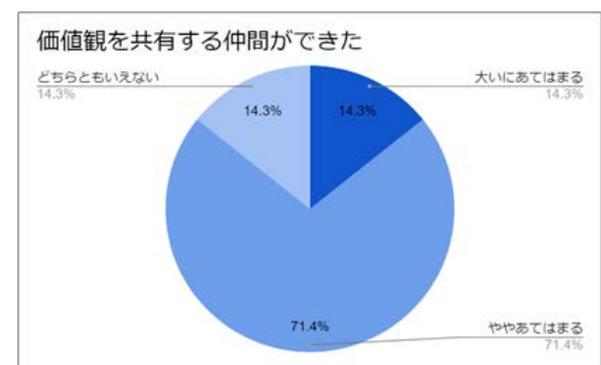
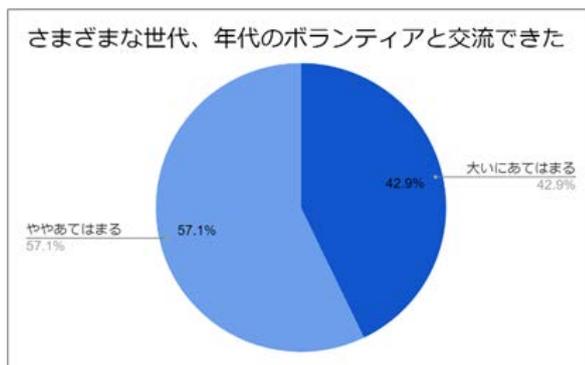
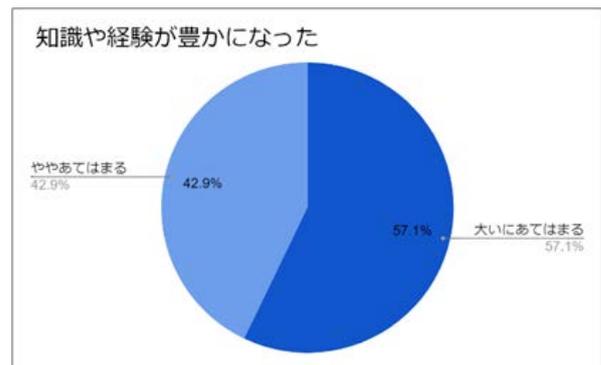
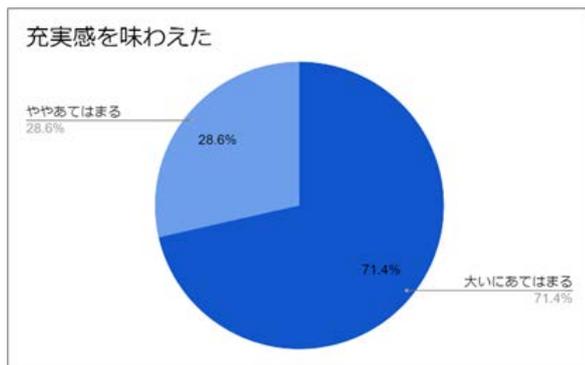
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動日数(日)	11	6	6	10	20	9	8	7	8	6	5	7	103日
一般	9	2	4	7	8	6	6	7	6	4	5	5	69日
ジュニア	9	6	5	9	18	8	6	7	6	2	4	5	85日
参加人数(人)	17	13	12	24	25	26	19	18	18	10	15	22	219人
一般	7	4	5	8	8	7	8	9	7	7	7	9	86人
ジュニア	10	9	7	16	17	19	11	9	11	3	8	13	133人

⑥ 活動評価（ボランティア活動充実度調査：2022年3月実施 回答者25人）

ボランティア活動の評価指標として、以下6項目についてアンケートを行いました。

1. 充実感を味わえた
2. 知識や経験が豊かになった
3. さまざまな世代、年代のボランティアと交流できた
4. 価値観を共有できる仲間ができた（ジュニア：科学に対する興味や関心が深まった）
5. 地域・社会に対する貢献ができた（ジュニア：浜松科学館を身近に感じるようになった）
6. 地域への愛着心が深まった（ジュニア：地域への関心が深まった）

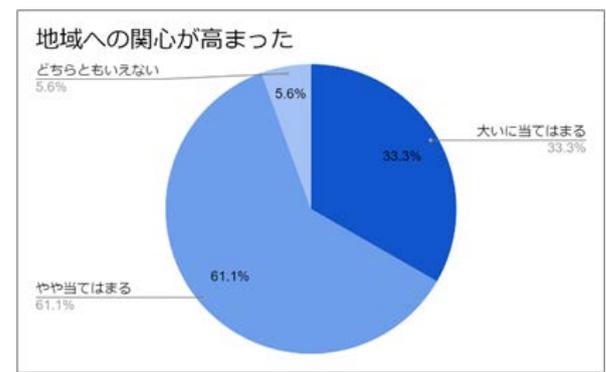
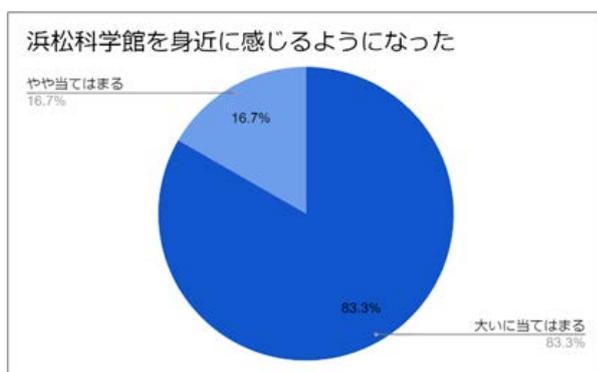
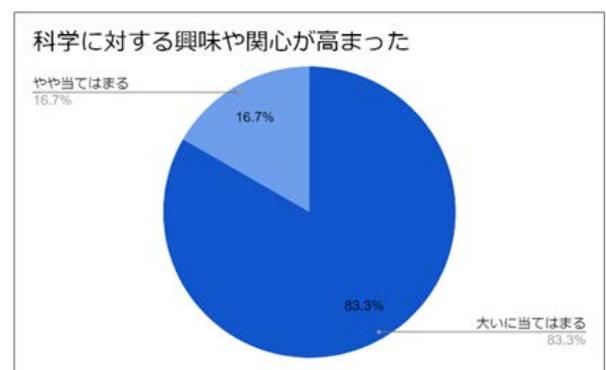
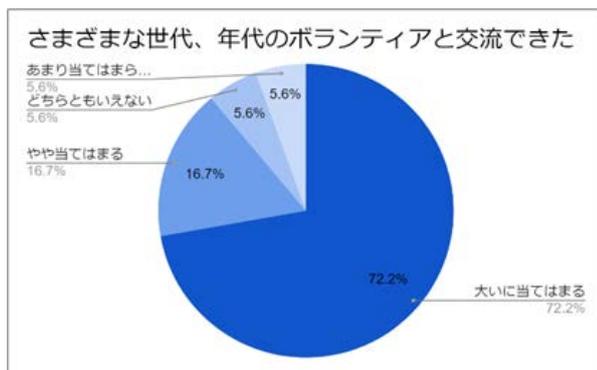
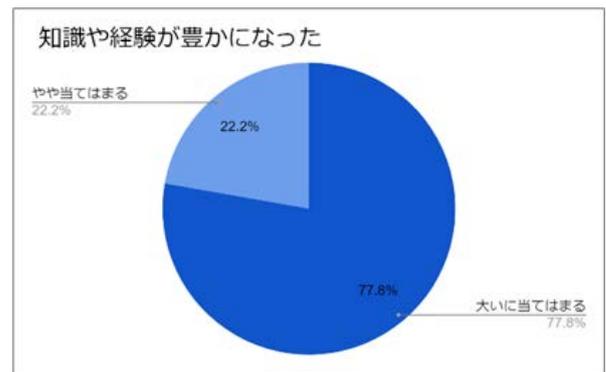
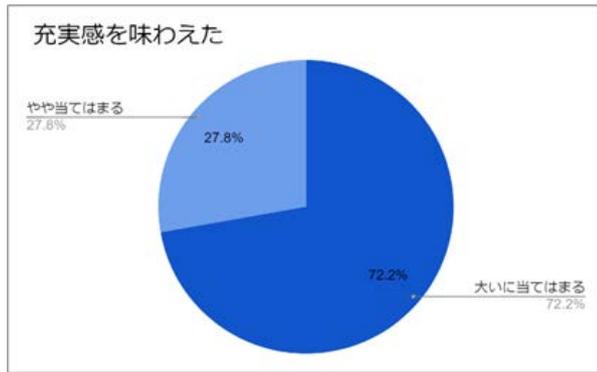
○一般（回答7名）



（感想）

- ・活動に参加するたび、スタッフの方々やボランティアの皆さん、来館される人たちに接することができ、科学の勉強に加え、元気を頂いている。
- ・他のボランティアの方々、科学館のスタッフの方々、来館いただいた方々と、多くのコミュニケーションをとることができ、自身の世界が広がった。「科学の学園祭」で提案した3Dメガネで、子どもたちの心をつかみきれなかったのがたいへん心に残っている。何かしらの形で、来年再挑戦したい。
- ・色々な世代の方と交流ができ、非常に刺激になっている。
- ・ミニワークの活動がほとんどでしたが、来館者と楽しく交流できた。
- ・自分自身、いろいろと勉強ができて良かったと思う。

○ジュニア（回答 18 名）



(感想)

- ・たくさんの活動ができて、とても楽しかった。たくさんのお客さんや、たくさんのボランティアさん、たくさんのスタッフさんとも交流でき、充実した活動ができた。たくさんの経験や新しい知識を得ることができたこともすごく嬉しかった。
- ・子どもとの関わり方についてとても勉強になった。他のボランティアの方と交流がとても楽しく、良い経験になった。
- ・ミニワークを通して様々な年代の人と交流できて、緊張はしたが、学校では得られない貴重な経験になった。
- ・他校の子と交流できたこと、地域の方と関わることが嬉しかった。
- ・ボランティアが主となって運営する、秋の学園祭がとても楽しかった。説明する紙がなかったので、普段よりもお客さんと話すことが多くなり、とても会話が弾んだ。
- ・今年度は受験があり、あまり活動に参加できなかったが、ボランティア活動を通じてさまざまな人と話すことができた。また、葉脈標本やサイエンスライブラリーでの本棚作りでは、楽しく活動することができた。
- ・他校の人や、地域の方と交流できたことが本当にうれしかった。

次年度の更新希望者は一般 10 人、ジュニア 13 人（計 23 人）。2023 年度の活動では、アンケートで得られた意見や要望を取り入れ、活動の場を拡げるとともに、さらに充実した活動になるよう支援していきます。

9. 調査・研究および収集・保存

毎月1回ボランティアとともに自然観察園の整備活動を行い、植物の遷移や外来生物の問題を生態学の野外実習の位置づけで教育普及を行い、観察の成果をnoteで連載しました。年間で計14本の記事を執筆し、PV数は119,232に上りました。

上記活動の過程で、ミニガイドブック「おとと de みらーら」の地衣類編（監修 国立科学博物館 大村博士）、コケ編の計2冊を作成し、科学館ウェブページに公開しました。また、自然観察園のアリを観察した際に静岡県内で採集例が少ないトカウロコアリ（Formicidae; *Pyramica membranifera*）が確認されました。2023年度に追加個体の採集を試み、紀要などで発表する予定です。

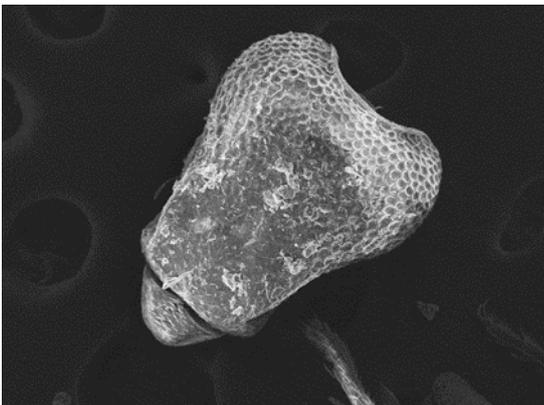
(note)



(ミニガイドブック「おとと de みらーら」地衣類編（左）、コケ編（右）)



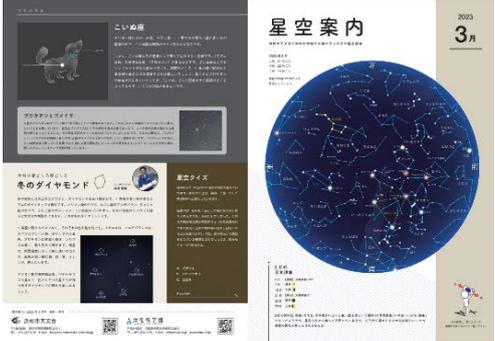
(トカウロコアリ頭部の電子顕微鏡写真)



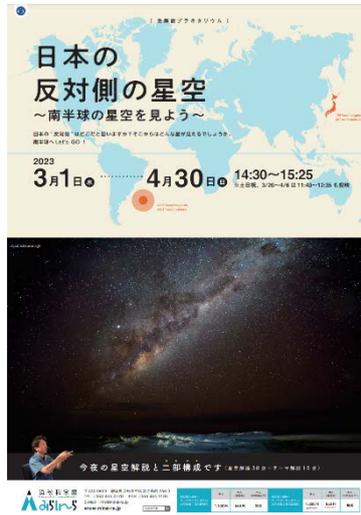
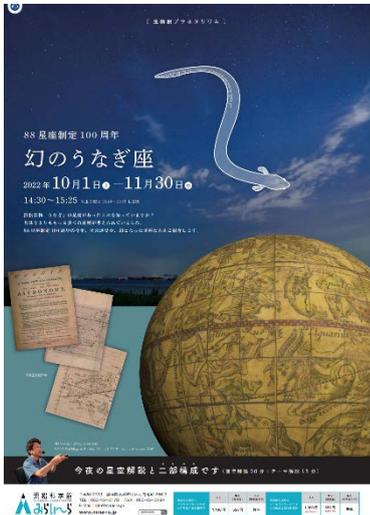
10. パブリックリレーションズ

利用者の視点に立った広報に取り組み、利用者の高い満足度の維持と、ステークホルダーとのより良い関係構築ができるよう努めました。広報誌・ポスター等の告知物を内製化することで情報を的確に届け、集客を図りました。また、WebやSNS、広報誌を通して科学館で働くスタッフの人物像が伝わるような情報発信を継続して行い、科学館への親しみを感じられる広報に取り組みました。

① 紙媒体

事項	内容																												
科学館ニュースレター COMPASS	<p>科学館の事業の全体的な広報を行うため、浜松市、湖西市、磐田市、袋井市、森町の小学校の全児童に配布。掛川市はデータ送信。また、館内や市内公共施設等で配架しました。</p> <p>(A4判×6ページ三つ折り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>号</th> <th>発行部数</th> <th>発行月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第12号</td> <td>75,790部</td> <td>4月</td> </tr> <tr> <td>第13号</td> <td>73,030部</td> <td>7月</td> </tr> <tr> <td>第14号</td> <td>70,030部</td> <td>10月</td> </tr> <tr> <td>第15号</td> <td>70,030部</td> <td>12月</td> </tr> <tr> <td>第16号</td> <td>71,030部</td> <td>2月</td> </tr> </tbody> </table> 	号	発行部数	発行月	第12号	75,790部	4月	第13号	73,030部	7月	第14号	70,030部	10月	第15号	70,030部	12月	第16号	71,030部	2月										
号	発行部数	発行月																											
第12号	75,790部	4月																											
第13号	73,030部	7月																											
第14号	70,030部	10月																											
第15号	70,030部	12月																											
第16号	71,030部	2月																											
科学館リーフレット	<p>来館者を中心に配布しました。</p> 																												
星空案内	<p>浜松市天文台との共同編集で月に一度発行しました。(A3判二つ折り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>発行部数</th> <th>月</th> <th>発行部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>2,500部</td> <td>10月</td> <td>2,600部</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>2,800部</td> <td>11月</td> <td>2,500部</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>2,700部</td> <td>12月</td> <td>2,500部</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>2,800部</td> <td>1月</td> <td>2,500部</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>3,000部</td> <td>2月</td> <td>2,500部</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>2,800部</td> <td>3月</td> <td>2,500部</td> </tr> </tbody> </table> 	月	発行部数	月	発行部数	4月	2,500部	10月	2,600部	5月	2,800部	11月	2,500部	6月	2,700部	12月	2,500部	7月	2,800部	1月	2,500部	8月	3,000部	2月	2,500部	9月	2,800部	3月	2,500部
月	発行部数	月	発行部数																										
4月	2,500部	10月	2,600部																										
5月	2,800部	11月	2,500部																										
6月	2,700部	12月	2,500部																										
7月	2,800部	1月	2,500部																										
8月	3,000部	2月	2,500部																										
9月	2,800部	3月	2,500部																										

事項	内容
ポスター、フライヤー	科学館の催し等の集客を目的とし、ポスターおよびフライヤーを発行しました。 ・ポスター 6種 計 1,682枚 ・フライヤー4種 計 12,500枚



② ウェブ媒体

事項	内容
公式ウェブサイト	ブログ等の更新や内容の定期的な見直しを行うことで、動きのあるサイトの維持を図りました。ミニガイドブックなどは、Web サイトからダウンロードして使用できるようにしています。サイトへのアクセス動向は以下の通りです。 ・ユーザー数 302,468 ・セッション数 428,621 ※セッション：ウェブサイトへの訪問のこと ・平均ページセッション数 3.49 ・平均セッション時間 2:14 (※2022年4月1日～2023年3月31日の集計)
公式 SNS アカウント	Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeの公式アカウントを通じて、催しの告知などを発信し、浜松科学館への集客を図りました。

③ パブリシティ (※詳細は P60 資料参照)

項目	件数	内訳
テレビ・ラジオ	48件	テレビ：29件、ラジオ19件
新聞・雑誌	68件	新聞：53件、雑誌15件
ウェブ	59件	TV系16件、新聞系：30件、その他：13件

④ 広告

項目	件数	内訳
広告	2件	新聞広告 2件

11. 視察・調査

静岡県内外の行政視察や科学館関係者、学校関係者等の視察・調査の対応をしました。

区分	団体名・名称	月日
行政・議会	磐田市副市長・経済観光課	4月20日
	掛川市公共施設マネジメント推進室	5月2日
	磐田市経済観光課	5月20日
	広島県福山市議会	8月3日
	広島市市民局文化振興課職員視察	10月7日
	浜松市社会教育委員会	10月25日
	浜松市財務部調達課	12月13日
	浜松市消防局南消防署	1月26日、27日
	鹿児島市教育委員会	1月27日
	磐田市市長、企画部資産経営課、産業政策課、経済観光課	2月17日
科学館等	ぐんまこどもの国児童会館視察	5月11日
	岐阜市科学館視察	6月15日
	多摩六都科学館	7月23日
	栃木県子ども総合科学館	10月4日
	第2回全国科学博物館協議会総会	10月5日
	静岡科学館	10月21日
	高浜市やきものの里 かわら博物館	2月8日
	川口市立科学館	2月28日
	呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム視察	3月9日
	とよた科学体験館	3月14日
	富山市科学博物館	3月29日
学校(総合学習、理科教員視察等)	静岡文化芸術大学	8月10日
	静岡県農林環境専門職大学	11月9日
その他	大阪万博関係者(大阪ガス㈱総務部)	4月8日
	静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター	4月29日
	中部科学技術センター	7月13日
	鈴木康広氏	8月9日
	山崎自然科学教育振興会	8月17日
	指定管理者予備監査	9月9日
	浜松科学館運営委員視察	10月13日
	JAとびあ浜松地産地消課	10月13日
	天竜製鋸株式会社	11月25日
	観光ボランティアガイド(東ブロック)	1月26日、27日
	天竜製鋸株式会社	2月7日
	三菱UFJ銀行	3月7日

IV 維持管理業務

1. 科学館の維持保全業務

① 施設維持管理業務

来館者に満足してもらうための快適かつ機能的な環境を継続的に提供することを目的に、予防保全を基本とし、中長期的な視点からライフサイクルコストの低減に努めました。公共施設、社会教育施設としての施設特性を踏まえ、その目的の達成を施設維持管理面で支えるため、故障や不具合発生を未然に防ぐよう計画的に業務を行います。

② 業務実績

※各月内の数字は実施日

分類	分類	項目	仕様	2022												2023			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
設備運転管理業務	設備運転管理業務	日常設備管理、残留塩素測定		1~30	1~31	1~30	1~31	1~31	1~30	1~31	1~30	1~31	1~30	1~28	1~31	常駐業務			
1.建物管理業務	1.建物管理業務	特殊建築物定期調査	建築物調査						5							2年1回(奇数年)			
		建築設備定期点検	換気設備検査						5							年1回			
			非常用照明装置検査							5						年1回			
			防火設備点検							26						年1回			
2.設備点検業務	2.設備点検業務	昇降機点検		1	1	2	1	1	2	1	1	6	6	1	3	年12回			
		自動ドア保守点検		19			7			4			6			年4回			
		吸収式冷凍機保守点検		18.19					22					20		年4回			
		空調設備	バックジェアコン	18.19										28.29		年2回			
			空調機	18.19										28.29		年2回			
			ファンコイルユニット	18.19										28.29		年2回			
			全熱交換器	18.19										28.29		年2回			
			ポンプ	18.19										28.29		年2回			
			送排風機	18.19										28.29		年2回			
			その他の点検(フロン)						22						20	フロン漏洩点検年2回			
			フィルター清掃	18.19					22					28.29	20	年4回			
			空調自動制御機器点検	19-22									24	1.2.3.6		年3回			
			消防設備点検	機器点検							7.8					年1回	防災訓練 ①2022年 4月14日 ②2022年 9月8日		
				総合点検										13.27		年1回			
				防火対象物点検							7.8					年1回			
				自家用電気工作物保守(電力ファクト監視)	保守点検	4	20	20	6	8	7	6	14	6	10	27	6	年12回	
			年次検査											27		年1回			
		非常用発電機保守点検												27		年1回			
		監視カメラシステム保守点検									14					年1回			
3.環境衛生管理業務	3.環境衛生管理業務	受水槽清掃				20										年1回			
			雑排水槽清掃				4							17		年2回			
			害虫駆除・鼠防除管理	建物全域	27	31	29	30	29	28	27	30	22	25	22	29	年12回		
				飲食スペース	27	31	22	30	29	28	27	30	22	25	22	29	年12回		
			簡易専用水道検査			1											年1回		
			水質検査	水質検査全項目			1										年1回		
				略式項目(水のテール)			1										年1回		
			ばい塵濃度測定					12							13		年2回		
			レジオネラ菌検査			25				3							年2回		
			Fog装置保守			26											年1回		
	冷却塔水質管理設備点検			25	9	8	6	6	7	19					年6回				
	空気環境測定			21		21		20		19		20		21	年6回				

③ 屋外緑地管理業務

サイエンスパーク、自然観察園、サイエンス農園等、科学館敷地内の緑地管理を行い、樹木の剪定・伐採、雑草除去、ニュートンのリンゴの木・醍醐寺のクローン桜、綿花等の生育を図って、周辺環境の向上と美観の保持、事業活用に供しています。

2. 特殊機材・展示物等保守管理業務

① プラネタリウム機器の保守管理業務

プラネタリウム機器を常に正常な状態に保ち、最適な環境の下で安定的に投映を行うことができるようにするために、日常点検を行うとともに、故障やトラブルを未然に防ぐための定期保守点検を行いました。また、不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な事後保全処置を迅速に行っています。

内 容		実施日
1	保守点検 (光学式プラネタリウム機器 CHIRONⅢ、ハイブリッドコンソール、デジタル映像システム機器 VIRTUARIUM II R7、音響装置、演出プログラム制作システム)	9月6日～8日

② 展示アイテム・ホール設備の保守管理業務

内 容		実施日
1	展示映像機器点検作業 (映像・音響装置、プロジェクター、PC、タブレット端末等調整・動作点検)	適時
2	展示装置・造形物点検作業 (調整・動作点検、目視点検)	適時
3	屋外展示・遊具・霧発生装置点検作業 (調整・動作点検)	適時
4	ホール舞台照明・吊物設備保守点検 ホール舞台音響設備保守点検	適時

3. 什器・備品等保守管理業務

浜松市物品管理規則（昭和40年規則第18号）に基づき、備品台帳を整備し保守・修繕等を、随時行い適切に管理しています。

4. 清掃・警備・防災関係業務

(1) 清掃業務

- ① 日常清掃 日単位の短い周期で日常的に行う清掃業務
- ② 除菌清掃 COVID-19 感染防止対策のために行う清掃業務
- ③ 定期清掃 月1回定期的に行う清掃業務
- ④ 巡回清掃 1日1回の日常清掃と共に行う補完的な清掃業務
- ⑤ 補給作業 資機材や衛生消耗品の不足を確認し、常に補給を行う作業

(2) 警備業務

機械警備業務を実施し、夜間・休館日の警備に対応しました。

(3) 防災関係業務

災害に備えて防災対策を図るとともに、本施設が被災した場合には、直ちに補修等の措置を講じられるよう、設備管理業務協力会社との定例会議を開催し、施設の機能維持に努めています。

項目	実施期間	備考
建築設備点検	9月5日,26日	建築基準法第12条に係る建築・設備の法定検査 (浜松市所管課への報告)
防火対象物点検	9月7日,8日	消防法第8条の2の2に基づく消防署への点検報告制度
消防用設備等点検(総合点検)	2月13日,27日	消防法第17条に基づく消防署への点検報告制度
避難誘導訓練	4月14日 9月8日	消防計画書に基づく特定防火対象物の総合訓練
防災教育	随時	消防計画書に基づく教育活動 ※新規職員(常勤・非常勤)採用時

- 防火権原者及び防火管理者の選定と「浜松科学館消防計画」の策定(浜松消防署に提出)
- 避難誘導マニュアルの作成と自衛消防隊の編成
- 災害時や警報発令時の参集基準、方法の設定(緊急連絡網の整備)
- 緊急事態に備えた教育・訓練の実施－危機管理マニュアルに基づく総合避難訓練の実施(年間2回)
- 館内消火栓等確認、近隣避難場所(旧高砂小学校)への避難ルートと周辺環境の確認

(4) 安全管理

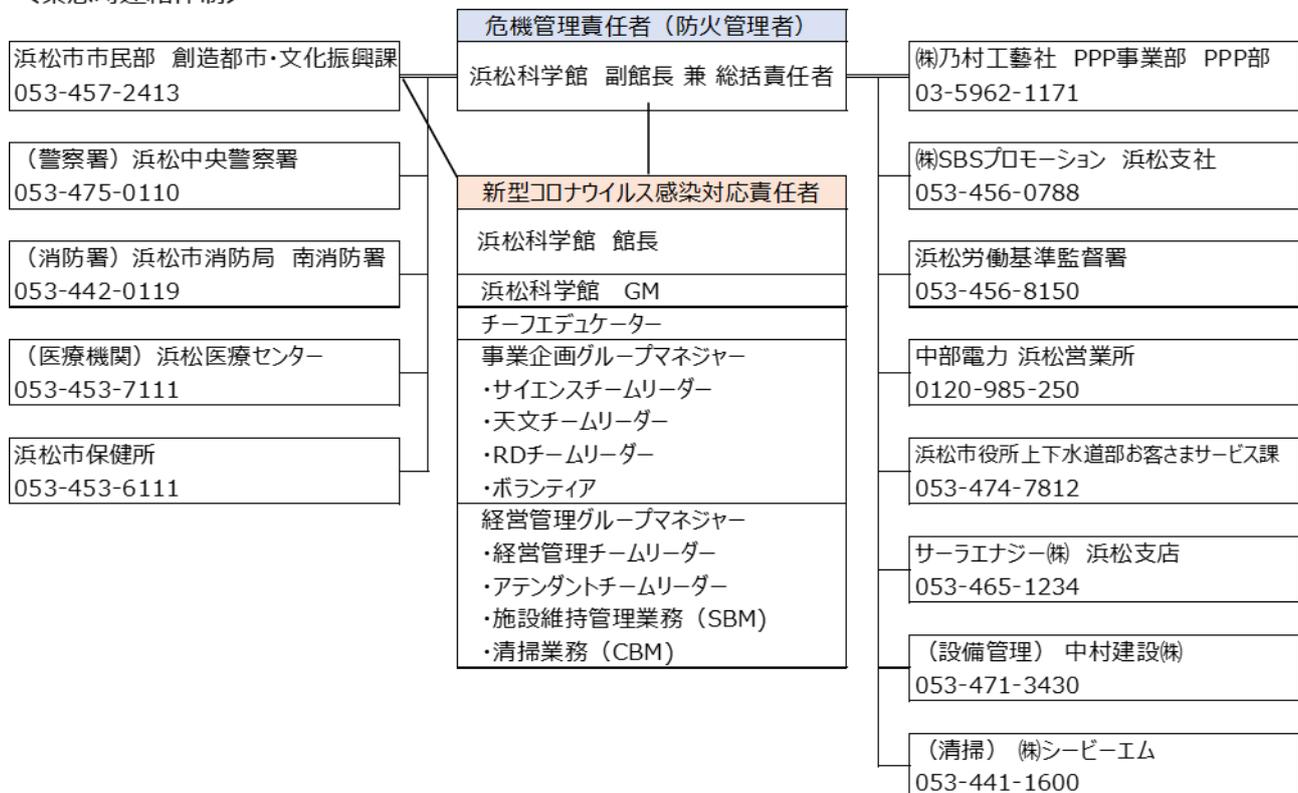
① 安全対策の基本的な考え方

来館者の安全を確保するために、前項（3）防災関係業務に基づき、施設内での事故・災害・盗難・不正・破壊等を未然に防止するよう図っています。特に、日常的な施設の施錠開閉及び入退室者の管理を行うとともに、来館者に対して細やかな心配りにより安全を確保し、危険な事態や火災・盗難等の早期発見と拡大防止に努め、災害や事故に強い施設づくりに取り組みました。

② 緊急時の対応体制

災害等の発生時には危機管理責任者を中心に連絡体制を整え、浜松市の関連部署と連携を密にした指揮命令系統をつくり、対策にあたります。

<緊急時連絡体制>



5. 修繕工事に関する業務

区分	件数	主要事項の概要	対応状況
故障・不具合	13件	① 機械室・雑排水管詰まり ② 雨漏り・天井材の剥落 ③ セミナールーム、サイエンスラボ、ものづくりラボ排煙窓固着修繕 ④ 事務所南網戸設置工事 ⑤ 外部通路インターロッキング補修工事 ⑥ 3階プラネタリウム事務室エアコン室内機水漏 ⑦ アクトシティ看板再設置 ⑧ スプリンクラー不具合 ⑨ 防犯対策工事監視カメラ取付 ⑩ 天のリバーホロライト不具合 ⑪ 雑排水槽ポンプ劣化 ⑫ ものづくりラボ空調修繕 ※カフェグリストラップ清掃、カフェコーナーメーター取付	浜松市所管課に報告の上、指定管理者実施修 理等 12件 (修理費約120万円) ※展示室等雨漏りは割愛
損傷・破損・汚損	8件	① ガラドアの開閉不良 ② サイエンスパーク落書き ③ 天のリバー屋外施設の汚損 ④ ホール前施設内舗道の汚損 ⑤ サイエンスパーク遊具付近粉末式消火器散布 ⑥ サイエンスライブラリー ガラスの破損 ⑦ サイエンスパーク蛇口ハンドルの取り外し ⑧ 東駐車場 室外機損傷	⑥：浜松市による修繕 ⑧：保険会社による修繕 上記以外：指定管理者による修繕、清掃

6. 事故・苦情等の対応状況

区分	件数	主要事項の概要	対応状況
事故・事件	15件	① 体調不良・けが 12件 ② 放置自転車 2件2台 ③ 拾得物処理	① 救護室で対応 (安静、救急搬送等含む) ②～③ 所管警察署に届け出
意見・苦情等	3件	① プラネタリウム内容について ② パワーアスレチックハウス使用について ③ 『浜松百撰』連載記事の内容について	① 苦情内容を館内にフィードバック、内容の精査 ② 来館者への説明、HP記載、館内情報共有 ③ 経緯の確認、『浜松百撰』上へお詫び掲載と 出典明記、知財保護の意識の徹底、チェック体 制の強化

V 施設貸出

(1) 業務概要

浜松市スポーツ・文化予約システム（まつぼっくり）による施設の利用申請を受け、利用許可を行い、利用料金を徴収しました。

(2) 貸室料金等

① 利用可能時間

9:30 から 21:30 までを貸出時間とします。（準備、片付け、原状復帰の時間も含む）

② 対象施設と利用料金（消費税及び地方消費税額含む）

対象施設	利用区分		9:30～10:00 及び 21:00～21:30	10:00～21:00 1時間につき
ホール	教育関係団体	入場料徴収なし	470円	940円
		入場料徴収あり	940円	1,880円
	その他	入場料徴収なし	940円	1,880円
		入場料徴収あり	1,880円	3,770円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160円	320円
		入場料徴収あり	320円	640円
	その他	入場料徴収なし	320円	640円
		入場料徴収あり	640円	1,290円
セミナールーム B	教育関係団体	入場料徴収なし	160円	320円
		入場料徴収あり	320円	640円
	その他	入場料徴収なし	320円	640円
		入場料徴収あり	640円	1,290円

※椅子や机等の備品の貸出の他、音響、照明、冷暖房装置等の備品は有料での貸出を行います。

(3) 貸出実績

施設区分	利用団体区分	件数	利用者数	利用料金
ホール	教育	16団体	1,016人	61,850円
	一般	12団体	871人	180,630円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	2団体	226人	18,934円
	計	30団体	2,113人	261,414円
セミナールーム	教育	4団体	60人	7,040円
	一般	13団体	134人	21,220円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	0団体	3人	0円
	計	17団体	197人	28,260円
合計		47団体	2,310人	289,674円

VI 収支報告

I 収入

(単位：円)

区 分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引	
(A) 収入合計 (税込み)		201,581,000	216,965,629	107.6%	△ 15,384,629	
1 指定管理業務委託料	指定管理料 年額140,710,900円(税込)	140,710,900	151,870,995	107.9%	△ 11,160,095	
2 利用料金		60,370,100	64,433,024	106.7%	△ 4,062,924	
	入場料・観覧料等	57,610,100	58,462,750	101.5%	△ 852,650	
	特別展・企画展参加費	1,000,000	2,445,900	244.6%	△ 1,445,900	
	貸館使用料	150,000	289,674	193.1%	△ 139,674	
	その他収入 (受益者負担金)	情報端末貸出料	10,000	1,200	12.0%	8,800
		みらいーらカード発行料	100,000	183,600	183.6%	△ 83,600
		参加費・材料費	1,500,000	3,049,900	203.3%	△ 1,549,900
3 補助金、協賛金等	文化庁補助金等	500,000	661,610	132.3%	△ 161,610	

II 支出

区 分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引
(B) 支出合計		201,581,000	203,336,702	100.9%	△ 1,755,702
1 事業運営業務費		22,259,000	19,247,744	86.5%	3,011,256
	常設展示運営費	3,000,000	1,812,012	60.4%	1,187,988
	プラネタリウム運営費	10,959,000	9,404,860	85.8%	1,554,140
	特別展・企画展運営費	4,500,000	4,369,642	97.1%	130,358
	教育普及事業費	3,800,000	3,661,230	96.3%	138,770
2 広報業務費		5,400,000	5,192,323	96.2%	207,677
	広報費、印刷費	5,400,000	5,192,323	96.2%	207,677
3 施設運営業務費		130,533,000	135,327,755	103.7%	△ 4,794,755
	管理運営人件費	120,475,000	124,244,275	103.1%	△ 3,769,275
	運営事務費	10,058,000	11,083,480	110.2%	△ 1,025,480
4 施設維持管理業務費		38,184,000	38,292,880	100.3%	△ 108,880
	維持管理業務委託費	34,622,000	34,963,295	101.0%	△ 341,295
	その他施設管理費	3,562,000	3,329,585	93.5%	232,415
	光熱水費	0	0	0.0%	0
5 公租公課		10,000	0	0.0%	10,000
	租税公課費	10,000	0	0.0%	10,000
6 一般管理費		5,195,000	5,276,000	101.6%	△ 81,000
	一般管理費	9,815,000	5,276,000	53.8%	4,539,000
収支 (千円) (A) — (B)		0	13,628,927	—	—

Ⅶ 自主事業

1. 必須の自主事業

(1) ミュージアムショップ

① 事業方針

事業活動と一体的に企画・運営し、利用者の科学への興味関心を高めるとともに、帰宅後にさらに学びを深めることを支援する商品や、思い出を回想し、また来館したいと感じてもらえるような商品の選定、販売を行いました。また、地域のアンテナショップとして、地元浜松の企業や事業者の商品も積極的に紹介することに取り組みました。

② 概要

営業日数	開館日と同じ
営業時間	11:00～17:00（夏季休暇期間は18:00まで） 土日祝日及び長期休暇期間は9:30 オープン ※購入希望のお客様がいらっしゃる場合は、平日でも11時前から販売。 毎月第3金曜日「夜の科学館」開催日は終了時刻まで

③ 実施業務

事業と連動し、来館者の能動的な学びを支援するグッズや地元浜松の企業関連製品を販売し、来館の記念になるようなオリジナル商品を開発しました。特に、企画展関連の商品を企画・販売し、多くの方に購入していただきました。また、ポップアップストアとして地域企業の商品を販売しました。

業務	内容
グッズ販売	① 常設展示のテーマ（光、力、音、自然、宇宙）やプラネタリウムに関連した教材、実験・工作材料、書籍、文具などのグッズ販売 ② 特別展や企画展のテーマに関連した書籍、工作キット、教材などのグッズ販売 ③ 実験・工作のキットや道具、材料等の販売 
ポップアップストア	① 奥浜名湖商工会と連携し、奥浜名湖地域の生産者、事業主の商品を販売 ② 大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、家康グッズコーナーを設置 ③ 地域企業の商品「お茶と紙の急須」「スプリングスプリング」「遠州紬ティッシュケース」等を期間限定で販売 

業務	内容
オリジナル商品の開発と販売	① 職員が描いた「オリジナル 12 星座」を使い、地元企業（ハマニ化成）が製作した「クリップシート」「名刺入れ」を新商品として販売 ② 職員が描いたキャラクター「まるだしくん」のシールを販売 ③ 夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」にあわせて「コンパス君パズル」「まるだしくんパズル」を販売 ④ 地元企業（ROOTOTE）とコラボレーションし、職員がデザインした「STAR FLIGHT」のスタンプを使用したオリジナルトートバックを企画販売



(2) カフェ

① 事業方針

来館者の利便性に配慮した飲食サービスを提供するとともに、「サイエンスライブラリー & カフェ」として、科学館職員がお勧めする図書等の配架や科学をテーマにしたミニ講座の開催など、科学館事業と連携しながら運営することを目指しています。昨年度は、COVID-19 感染拡大による営業不振によりカフェ営業者が撤退後、営業体制の見直しを図り、公募による市内飲食店とのコラボ営業を基本に、職員による「宇宙食カフェ」を営業するなど、試行錯誤を続けています。

② 概要

営業実績	NAKATAJIMART 110 日間 和ダイニング 莉 (NAKATAJIMART と共同営業) 2 日間 職員直営「宇宙食カフェ」5 日間
営業日	土日祝日、夏休み・冬休み・春休みの一部
営業時間	11 時から概ね 15 時まで（終了時間は日によって異なる。店頭に表示）
席数	50 席
COVID-19 対策	飛沫防止のアクリルパーテーションをテーブルに設置（3 月 13 日に長テーブル以外は撤去） アルコール消毒液をカフェカウンターに設置

③ メニュー

地域の食材を活用したメニューや科学館らしいメニューなど、客層に合わせて工夫しました。



事業者	主なメニュー
NAKATAJIMART	野菜や肉のサンドウィッチ、チキンカレー、うなぎ芋を使ったスイーツ・ドリンクなど
和ダイニング一莉	峯野牛の焼肉弁当、厚焼き玉子など
直営「宇宙食カフェ」	ショップで販売している宇宙食を使ったメニュー(カレー、焼き鳥丼、ちりめん山椒茶漬 等)、銀河系の惑星をイメージするドリンク など

(3) 自動販売機

利用者へのサービスのために、館内 1F に 2 台、2F に 3 台、サイエンスパークに 1 台（計 6 台）設置しています。

2. 任意の自主事業

(1) キッチンカーのフードサービス

サイエンスパーク内に専用エリアを設け、浜松市公有財産管理規則（昭和 39 年規則第 30 号）第 9 条の規定に基づき、行政財産の使用許可を得て、キッチンカーのフードサービスを計画しましたが、2022 年度も COVID-19 感染拡大の影響によりキッチンカーの誘致を見合わせました。

(2) プリントシール機の設置

2020 年 8 月からミュージアムショップ横に設置し、利用者の来館記念撮影の他、年間パスポート用写真撮影に活用しています。

(3) 賑わい創出のマルシェ

COVID-19 感染拡大により、サイエンスパークも活用したマルシェの開催は、難しいと判断しました。試行的に、12 月 24 日(土)・25 日(日)の 2 日間、「みらいらクリスマスマーケット」をエントランスエリアで開催しました。浜松市内及び周辺地域のクラフト作家や菓子職人など 2 日間で 19 事業者が対面販売やミニ工作体験を実施し、来館者と事業者との交流の場を創出しました。



3. 自主事業の収支

(単位：円)

区分	内容	金額(税込)	備考
収入	ショップ売上	17,454,051円	
	カフェ手数料等(外部委託業者)	600,975円	売上の5%及び行政財産目的外使用料等
	カフェ自主営業	122,110円	宇宙食カフェ4回分
	マーケット出店料	60,000円	Xmasマーケット出店料収入
	キッチンカー販売手数料等	0円	売上の5%及び行政財産目的外使用料 (COVID-19感染拡大防止のため今年度中止)
	飲料用自動販売機手数料	1,658,761円	売上の34~35%
	プリントシール機	88,900円	売上の20%
合計 A		19,984,797円	
支出	通信費	1,255円	
	消耗品費・什器等備品費	145,886円	ショップ・カフェ自主営業・マーケット消耗品
	行政財産目的外使用料(使用料賃借料)	1,433,728円	カフェ・ガチャ・ショップ・プリントシール機 ※ショップ行政財産使用料過誤分減額
	修繕費	159,500円	カフェコーナー修繕
	印刷製本費	6,520円	Xmasマーケットフライヤー
	事業委託費	49,500円	現地訪問操作説明(ショップ物語)
	維持管理委託費	177,650円	年間自動更新保守契約料(ショップ)
	手数料支出	1,175,676円	振込手数料、キャッシュレス手数料
	商品仕入	12,262,905円	買取・委託商品仕入
	雑支出	749円	クーポン差額等
合計 B		15,413,369円	
収支差引 A-B		4,571,428円	

(注) 支出は、ショップの店舗運営に係る販売管理等の経費を除いたもの。

Ⅷ 資料

1. 2022年度科学館入館観覧者状況
2. 2022年度イベント・講座実施状況
3. 利用者アンケート調査集計結果
4. 浜松科学館と大学・企業との事業連携アンケート調査（評価）結果
5. メディア取材等一覧表

1. 2022年度科学館入館観覧者状況

チケット区分		利用者数（人）	構成比	利用料金（円）	構成比		
個人	常設展	有料	大人	34,117	22.5%	20,470,200	36.8%
			中人	1,454	1.0%	436,200	0.8%
			計	35,571	23.4%	20,906,400	37.5%
		無料	大人	10,756	7.1%	0	0.0%
			中小人	41,772	27.5%	0	0.0%
			計	52,528	34.6%	0	0.0%
	合計	88,099	58.1%	20,906,400	37.5%		
	常設展+ プラネタリウム・大型映像	有料	大人	29,356	19.3%	32,723,000	58.8%
			中人	1,183	0.8%	654,450	1.2%
			計	30,539	20.1%	33,377,450	59.9%
		無料	大人	4,715	3.1%	0	0.0%
			中小人	28,397	18.7%	0	0.0%
			計	33,112	21.8%	0	0.0%
	合計	63,651	41.9%	33,377,450	59.9%		
観覧券		4,750	—	1,673,000	—		
割引		—	—	△ 266,520	—		
A 個人合計		151,750	—	55,690,330	—		
団体	常設展	有料	大人	555	3.0%	301,740	41.2%
			中人	145	0.8%	34,980	4.8%
			計	700	3.8%	336,720	45.9%
		無料	大人	1,053	5.7%	0	0.0%
			中小人	7,390	39.7%	0	0.0%
			計	8,443	45.3%	0	0.0%
	合計	9,143	49.1%	336,720	45.9%		
	常設展+ プラネタリウム・大型映像	有料	大人	359	1.93%	314,600	42.9%
			中人	172	0.9%	81,900	11.2%
			計	531		396,500	
		無料	大人	1,057	5.7%	0	0.0%
			中小人	7,904	42.4%	0	0.0%
			計	8,961	48.1%	0	0.0%
	合計	9,492	50.9%	396,500	54.1%		
B 団体合計		18,635	—	733,220	—		
個人・団体合計(A+B)		170,385	—	56,423,550	—		
別納分		—	—	0	0		

2. 2022年度イベント・講座実施状況

開催日	種別	名称	参加人数	内容
4月29日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「羽ペンを作って書いてみよう」	34	春の企画展の関連イベントとして、羽ペンを作り、実際に書いてみる体験を行った。材料は、静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センターから駿河軍鶏の羽を提供していただいた。協力：静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター
6月5日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「電気ペンでお絵描き実験」	13	ムラサキイモなどの紫色の野菜や果物に含まれる「アントシアニン」の色変りやの性質を利用して、電気で絵を描く実験を行った。
7月10日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「ロウソクゴケでキャンドルづくり」	23	地衣類の一種ロウソクゴケでロウを染色し、中世ヨーロッパと同じ手法でキャンドル作りを体験した。
8月14日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「君も数のマジシャン」	16	2進法を用いた数当てマジックや、フィボナッチ数列を用いた増えたり減ったりするタイルをとおして、数学を気軽に楽しむ場を提供した。
9月4日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「金・銀・銅のメダルをつくらう」	58	めっきや合金などの金属の化学反応を使って、銅板を銀色や金色に変色させる実験を行った。昨年度、人気が高かったイベントであり、今年度も非常に好評であった。
9月19日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「シーリングワックスで蓄光シールをつくらう」	31	中世ヨーロッパで用いられていたシーリングワックスで科学館オリジナルの蓄光シールを作成した。実験を通してロウの熱可塑性を体感した。
9月25日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「風のテーブル：風が生み出す回転の力」	16	カゾーンの風のテーブルを活用して、手作りした風車で回転する仕組みについて学んだ。羽根の枚数や、アルファベットなど形を変え、どんな形が回転するか予想しながら想像力と創造性を養った。
12月11日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「指のレプリカをつくらう！」	21	型とり剤で指の型をとり、精巧に作られた自身の指のしわや指紋などを観察した。
1月21日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「冬にピッ！ほかほかカイロを作らう」	14	鉄粉、水、活性炭、塩という身近な材料を使って化学カイロ作りを体験し、化学カイロが発熱する化学反応の仕組みを学んだ。
3月4日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「化学反応で指紋を見よう」	28	科学捜査でも用いられるニンヒドリン反応で自身の指紋を可視化した。身近にある調味料も反応するかを実験し、生き物にはニンヒドリン反応に必要なアミノ酸が含まれることを体感した。
3月11日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「ホバークラフトを作らう！」	16	プロペラで下方に風を送り、わずかに船体を浮かばせることで地面との摩擦を減らして進むホバークラフトを作り、その仕組みを学んだ。
サイエンスラボイベント 計			270	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
8月22日	サイエンスショーイベント	2022夏休み 親子まちなかサッカーウィーク「天玲美音とうえちゃんのコラボサイエンスショー」	280	天玲美音氏とサッカーをテーマにしたスペシャルサイエンスショーを行った。
サイエンスショーイベント 計			280	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
4月1日～12月23日	その他	館内 さがしてためて みらいーら	3,504	ゲームブックの流れに沿って5つの問題を解いていくなかで、観察や実験を行うことを促す仕掛けになっている。常設展をより楽しんでもらうための親子向けのツール。冊子の中2階のゆめたまごで販売。(1冊100円)4月387人、5月466人、6月263人、7月428人、8月701人、9月416人、10月297人、11月361人、12月185人
12月24日～3月31日	その他	館内 さがしてためて みらいーら2	1,191	常設展示内の5ゾーンそれぞれで問題を解きながら、観察・実験を促す仕掛けになっている。科学館をより楽しんでもらうための親子向けのツール第2弾。冊子の中2階のゆめたまごで販売(1冊100円)12月137人、1月284人、2月215人、3月555人
4月1日～10日	その他	館内 サイエンスパフォーマンスになってみよう	53	みらいーらステージを1家族ずつ貸切にして、シャボン玉のショーを実演する、サイエンスパフォーマンス体験イベントを行った。ステージに立つ子供の姿を保護者が撮影するなど、非常に和やかで満足度の高い催しとなった。
4月17日	その他	館内 15分で展示実験 光のテーブル	16	簡単な実験道具を配布し、レンズの種類や光の進み方などを解説、実験した。自ら実験することで、普段のアクティブ展示解説よりも、自分で考える要素を増やすことができた。
6月5日, 11日, 12日, 25日	その他	館内 みらいーら自由に研究ラボ (電子顕微鏡編)	10	参加者が材料を持ち込み、デジタルカメラや電子顕微鏡で拡大観察した。自由研究のデータとして活かしたり、自由研究の相談をしたりする参加者がみられた。

開催日	種別	名称	参加人数	内容
6月12日～(9月4日まで)	その他	館内 特別展示 「はやぶさ2を知ろう」	—	小惑星探査機「はやぶさ2」の特別展示を行っている。 リュウグウから採取したサンプルレプリカの展示や、動画での解説を行っている。 協力：JAXA宇宙科学研究所プロジェクト はやぶさ2プロジェクト
6月18日～(8月31日まで)	その他	館内 みらいーらブックセレクション展	25	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほしい1冊をスタッフが選書し、贈呈。当選者の読後のメッセージと、スタッフのメッセージを本と共にライブラリーに展示した。6月24日には、浜松ロータリークラブ会長にご出席いただき、記念品贈呈式を行った。 共催：浜松ロータリークラブ
7月30日, 31日	その他	館内 みらいーら自由に研究ラボ(その他実験機器編)	6	参加者が材料を持ち込み、生物顕微鏡や実体顕微鏡で観察した。自由研究のデータとして活かしたり、自由研究の相談をしたりする参加者がみられた。
7月30日, 31日	その他	館内 サイコロパズル	36	夏の特別展にあわせて、3つのピースからサイコロを組み立てるパズルを作る工作体験を行った。
8月11日, 16日, 17日	その他	館内 化石探し体験!	717	数十万年前の岩石を割って落ち葉の化石を探した。見つけた化石の樹種を同定し、当時の気候や環境を考察した。共催：山崎自然科学教育振興会 ※参加者数内訳：8/11(288人) 8/16(220人) 8/17(209人)
8月12日～14日	その他	館内 遠州織物でつくる! みつろうラップ	—	溶かしたみつろうを遠州織物に染みこませて、繰り返し使うことができるみつろうラップを作った。地元の織物の存在や、物質の融解を体感した。 ※参加者数内訳：8/12(30人) 8/13(30人) 8/14(37人)
8月18日, 19日	その他	館内 ペーパーサッカーボールでゴールを決めよう!	42	浜松こども館と合同で、サッカーボールのペーパーークラフトを2つ作り、両館内に設置したゴールへ入れる連携イベントを開催した。 共催：浜松こども館
8月20日～28日	その他	館内 サイエンスフォーマーになってみよう	25	みらいーらステージを1家族ずつ貸切にして、シャボン玉のショーを実演する、サイエンスフォーマー体験イベントを行った。ステージに立つ子どもの姿を保護者が撮影するなど、とても和やかで満足度の高い催しとなった。
9月	その他	館内 第3回浜松市小・中学生「発明くふうコンテスト」優秀作展示	630	発明くふう作品応募総数387点のうち、一次審査を通過した44点の作品を展示した。また会場内で制作者が作品の使い方や制作過程を紹介する動画を流した。 共催：浜松経済クラブ
11月6日	その他	館内 手作り望遠鏡	16	11月8日に観察される皆既月食に合わせて、望遠鏡を作成した。凸レンズを組み合わせてできる望遠鏡の仕組みを解説しながら組み立て、完成した望遠鏡で野外で遠くを見る練習を行った。
11月6日, 8日	その他	館内 トークオブUNDER「皆既月食のしくみ」	61	11月8日の皆既月食に合わせて、月食が起こるしくみや現象について、解説した。 11/6(45人)、11/8(16人)
11月23日	その他	館内 15分で展示実験「砂鉄でお絵かき」	19	カゾーン「砂鉄でお絵かき」を用いた展示実験。オリジナルのカード型の磁石を作成し、磁石が持つ磁力や磁界などの性質を、展示物を使って実験し、楽しく学んだ。
12/17, 18, 24～28	その他	館内 サイエンスフォーマーになってみよう!	13	みらいーらステージを1家族ずつ貸切にして、シャボン玉のショーを実演する、サイエンスフォーマー体験イベントを行った。ステージに立つ子どもの姿を保護者が撮影するなど、とても和やかで満足度の高い催しとなった。
12月25日	その他	館内 親子でバードウォッチング!	12	科学館発行のガイドブック3冊を使いながら、馬込川で計14種の野鳥を観察した。
1月4日～9日	その他	館内 昔あそび広場	717	中2階みらいーらテール付近でけん玉やコマなどを設置し、来館者が自由に正月遊びを楽しむスペースを設けた。
2月18日, 19日, 23日, 25日, 26日	その他	館内 MENKA Fair	454	ものづくり浜松の出発点である綿花の複合的な学習体験。科学館で栽培した綿花を利用して、吊るし雛作り、綿うさぎ作り、ミサンガ作り、綿花産業の歴史を伝える紙芝居、綿花種子の販売などを実施した。
3月27日	その他	館内 展示を一緒にみてみよう	6	2024年、2026年に予定している展示更新に向けた市民調査の一環として実施。職員による展示案内の後、参加者がデジタルカメラを持って館内を見学。発見したことやおもしろいと思ったことなどを1枚の用紙にまとめ、常設展示場内に掲出した。(6人4組)
3月11日～31日	その他	館内 全国プラネタリウムこども絵画展	—	プラネタリウム誕生100周年を記念して、子供たちが描いた、プラネタリウムがテーマの絵画約90点を展示した。(応募者82人)
3月1日～31日	その他	館内 みらいーらブックセレクション	—	市内の小・中学生を対象に募集。これまでに読んだ本や興味のあることを記入して応募し、その内容から職員が選書し贈呈する。今後、職員と応募者とのやり取りと本を展示するブックセレクション展も開催する予定。共催：浜松ロータリークラブ(応募者48人)
その他イベント 小計		館内	7,553	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
4月3日	その他	野外 105歩で生き物観察 タンポポ編	35	雨天のため野外観察を中止し、サイエンスカフェ形式でタンポポについての講演会をカフェスペースにて行った。外来性タンポポの形態が外来性ナメクジの影響を受けて進化したなど最新の研究内容を紹介した。
4月23日	その他	野外 浜松シャボン玉フェス2022	94	サイエンスショーで用いるシャボン玉の枠を使って、自由にシャボン玉体験ができる催しをサイエンスパークで行い、多くの家族連れに楽しんでいただけた。24日は、雨天のため中止した。
6月1日～	その他	野外 サイエンス農園 綿花の栽培	—	昨年採取した種を植えて、サイエンス農園にて綿花の栽培を行っている。採集した綿花でのイベントも検討している。
6月18日, 19日	その他	野外 みらいーら直伝！丈夫で長持ちする シャボン玉液を作ろう	102	科学館Youtubeで公開している割れにくいシャボン玉液を実際につけてもらった。初日は雨天のため屋内で、2日目は晴れたため屋外で実施した。
7月17日, 18日	その他	野外 身近な昆虫採集体験	65	採集道具を貸出、サイエンスパーク・自然観察園で昆虫採集を体験した。採集した昆虫はサイエンスライブラリーで種を同定した。
7月24日	その他	野外 105歩で生き物観察 「クスノキのダニ編」	23	自然観察園でクスノキの葉を採集し、エントランス付近で葉の中で生活するフシダニをデジタル顕微鏡で観察した。クスノキとダニの共生関係を実感した。
11月27日	その他	野外 105歩で生き物観察【地衣類編】	5	館発行のミニガイドブック地衣類編とルーペを使って科学館敷地内の地衣類を観察・同定し、人知れず存在する身近な生物多様性を体感した。
1月28日	その他	野外 擬態する生き物を探そう	18	都田総合公園で枝や岩、ゴミなどに擬態する昆虫やクモなどを探した。自然観察をとおして、浜松市の豊かな自然環境を体感した。
2月4日	その他	野外 105歩で生き物観察【コケ編】	8	ミニガイドブック（コケ編）とルーペを配布し、自然観察園・サイエンスパークに生えるコケ植物を観察し、人知れず存在する生物多様性を体感した。（5組8人）
その他イベント 小計		野外	350	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
4月2日	その他	外部 浜名湖花フェスタ2022 花粉の形を比べてみよう	601	浜名湖花フェスタの一環として、はままつフラワーパークで、タンポポとスギの花粉を生物顕微鏡で観察した。ボランティアも3人参加し、花粉の分散方法の違いによって花粉の形や量が変わることを参加者に解説した。また、会場にてミニガイドブック「春の草花編」を100部配布した。協力：はままつフラワーパーク
5月3日～5日	その他	外部 みらいーらロボットまつり	1,340	ダンス、操縦体験など、ホビーロボットの魅力を紹介する体験型の学習イベント。 （参加者内訳）体験操縦サッカー 502人、ロボットダンスステージ 557人、マカモグラタイムアップクック281人 協力：ロボットゆうえんち
5月7日	その他	外部 活版印刷体験	15	文具展と関連して活版印刷を体験するイベントを、企画展会場内で実施した。参加者が印刷したい文字（活字）とイラストを選び、活版印刷機を使って手で印刷し、活版印刷の技術や面白さを体感した。 講師：大杉晃弘氏
5月21日、22日	その他	外部 見えない放射線をみてみよう！	90	肉眼では見ることができない放射線を、特殊な実験装置を用いることで放射線が流れる軌跡を観察した。また、正しい放射線の性質や知識を学ぶ機会となった。 共催：静岡エネルギー・環境懇談会
6月15日, 16日	その他	外部 生涯学習施設職員及びボランティアのた	108	協働センター職員、ボランティアに向けた研修会を行った。身近なものを使った実験工作6種類を紹介、実習を行った。講座後、問い合わせも多く寄せられた。
11月12日、13日	その他	外部 大河ドラマ館に飾る注染そめ手ぬぐいを 作ろう！	60	地場産業である浜松注染そめや、リモネンの化学反応を用いたオリジナル家紋づくりをとおして、大河ドラマ館へ展示する手ぬぐいを制作した。11/12(30人)、11/13(30人)参加。 共催：遠州産地振興協議会 協力：浜松市産業部観光・シティプロモーション課
11月19日、20日	その他	外部 発明とアイデア展	835	浜松発明研究会によるアイデアにあふれる作品の展示会を開催した。発明品の作り方についての相談なども行った。11/19（220人）、11/20（616人）

開催日	種別		名称	参加人数	内容
2月11日、12日	その他	外部	メカモグラ・タイムアタック	87	配管調査用ロボットをレース用チューブに走らせてタイムを競った。当館の常連であり、メカモグラタイムアタック第一回世界大会優勝者の伊藤くんをゲストに招いて、エキシビジョンも行った。 共催：ロボットゆうえんち
その他イベント 小計		外部		3,136	
その他イベント（館内・野外・外部）計				11,039	

開催日	種別		名称	参加人数	内容
5月12日、19日	教育機関連携		専門学校 ルネサンス・ベットアカデミー 講義	44	科学館で働く学芸員の仕事について講義。 教育普及活動を行う上での工夫や、アイデア・展示コンセプトをテーマにした課外授業を行った。
6月16日	教育機関連携		出張プログラム	25	芳川北小学校 小学4～6年生 回転をテーマにしたサイエンスショーを実施した。
6月21日、 22日	教育機関連携		職場体験	7	細江中学校2年生 職員の業務を紹介しながら、様々な体験、清掃等を行った。
7月7日	教育機関連携		出張プログラム	130	浜松市立西小学校 小学3年生69人、4年生61人 風船をテーマにしたサイエンスショーを実施した。
8月2日	教育機関連携		浜松市教育研究会 理科部会研修会	66	浜松市内小中学校の理科教員及び顧問校長（計66人）が研修会を実施。理科部会による実践発表を行いながら、科学館のプラネタリウム（学習投映）の観覧、ミニワークショップ（3種）の体験を行った。
8月3日、4日 8月9日、10日	教育機関連携		教員社会体験研修	2	中堅教諭等資質向上研修を受け入れ、①中村先生（静岡県立浜松北高校）と②山口先生（磐田市立竜洋東小学校）が参加した。サイエンスチーム業務を体験しつつ、アクティブ展示解説の実演を行った。
8月22日	教育機関連携		高文連自然科学専門部	45	常設展見学、生解説プラネタリウム観覧（一般投映）、電子顕微鏡を使った解説と実験工作の体験を行った。
9月10日～21日	教育機関連携		理科自由研究作品展	2,213	市内小中学校の理科の自由研究の優秀作品237点（小学校137点、中学校100点）を展示した。 共催：浜松市教育研究会理科研究部
9月13日～24日	教育機関連携		博物館実習	7	サイエンスチーム業務を中心に科学館業務全体の講習、研修を実施した。また24、25日には「ボリューム満点 サイエンスビューエ ～博士気分を味わおう～」と題してワークショップブースを企画・実演した。
9月15日	教育機関連携		出張プログラム	30	空気をテーマにしたサイエンスショーを実施した。 与進北小学校4～6年
10月1日～23日	教育機関連携		秋の企画展「科学の学園祭」	2,029	来場者と学生、また学生同士でのサイエンスを介した交流を目的として、浜松市および近隣の学生たちによる科学活動の発表の場を設けた。具体的には①科学実験・科学工作のブース出展、②サイエンスショーの実演、③自由に研究ラボ成果ポスター展示を実施した。
10月1日、2日	教育機関連携		博物館実習（補講）	1	博物館実習実施機関の2日間の欠席分の補講を行った。科学の学園祭会場付近で顕微鏡を用いたイシクラゲの観察ブースを担当し、来館者との交流の場を経験した。
10月13日、27日	教育機関連携		専門学校 ルネサンス・ベットアカデミー 講義	43	学芸員の仕事を館内研修や模擬的な野外観察会を体験した。10/13(21人)、10/27(22人)参加。
10月25日	教育機関連携		浜松市社会境域委員会	9	プラネタリウム観覧、サイエンスショー見学、展示案内を行った。
10月27日	教育機関連携		浜松市初任者教員研修	24	初任者教員による文化施設訪問研修の一環で浜松科学館を訪問。館内案内を実施し、浜松の産業史を科学館の常設展示を活用して学ぶポイントを解説した。
11月1日	教育機関連携		出張プログラム	30	葵西小学校のクラブ活動の時間に、燃焼、色変わりのサイエンスショーを実施した。
11月1日	教育機関連携		職場体験	10	積志中学校を対象に実施。館内展示・サイエンスショー・プラネタリウムの見学を通じた科学館業務の紹介や、企画展・ミニワークの準備など普段目に見えない裏方の仕事を体験した。

開催日	種別	名称	参加人数	内容
11月1日	教育機関連携	職業インタビュー	1	豊田市立高岡中学校 科学館での仕事、プラネタリウム解説についてなどを電話にてインタビューを受けた。 豊田市立高岡中学校 科学館での仕事、プラネタリウム解説についてなどを電話にてインタビューを受けた。
11月10日、11日	教育機関連携	職場体験	25	中郡中学校、富塚中学校、曳馬中学校、雄踏中学校を対象に実施。館内展示・サイエンスショー・プラネタリウムの見学を通じた科学館業務の紹介や、企画展・ミニワークの準備など普段目に見えない裏方の仕事を体験した。
11月24日、25日	教育機関連携	職場体験	43	北部中学校、南陽中学校、舘塚中学校を対象に実施。館内展示・サイエンスショー・プラネタリウムの見学を通じた科学館業務の紹介や、企画展・ミニワークの準備など普段目に見えない裏方の仕事を体験した。
11月25日	教育機関連携	職業インタビュー	24	向笠小学校 みらいーらステージにて、サイエンスショーについて説明した後、児童より工夫点などの質問を受けた。
11月25日～ 3月31日	教育機関連携	巡回展	—	2022年に開催した夏の企画展「身近で気になる昆虫展」の巡回展を北杜市オオムラサキセンターで実施。2023年3月19日まで。 主催：北杜市オオムラサキセンター 2022年に開催した夏の企画展「身近で気になる昆虫展」の巡回展を北杜市オオムラサキセンターで実施。2023年3月19日まで。 主催：北杜市オオムラサキセンター ※令和5年度も継続
12月1日、2日	教育機関連携	職場体験	7	浜松西高等学校中等部の生徒を対象に実施。館内展示・サイエンスショー・プラネタリウムの見学を通じた科学館業務の紹介や、企画展・ミニワークの準備など普段目に見えない裏方の仕事を体験した。
12月9日	教育機関連携	静岡県高等学校理科教育研究会 西部支部地学部会研修会	7	常設展示・プラネタリウムの見学、リバージオモデルのデモ解説を実施した。
12月9日、14日	教育機関連携	展示案内	43	浜松日本語学院 ストリーブックに沿った内容に加え、浜松の歴史や文化も含めて展示案内を行った。 12/9(24人)、12/14(19人)
1月27日	教育機関連携	出張プログラム	20	浜松市立東小学校4～6年20人「液体窒素」
教育機関連携事業 計			4,885	

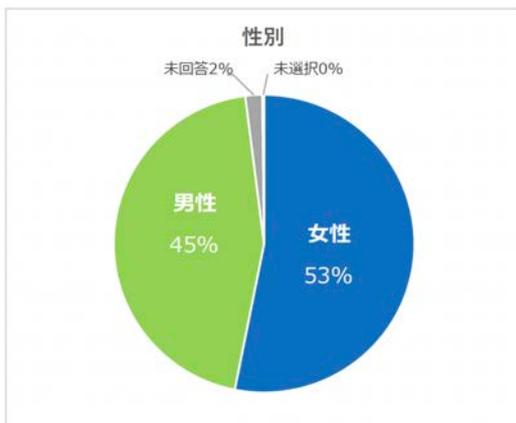
イベント種別	人数
サイエンスラボイベント	270人
サイエンスショーイベント	280人
その他イベント（館内）	7,553人
その他イベント（野外）	350人
その他イベント（外部）	3,136人
教育機関連携事業	4,885人
合計	16,474人

3. 利用者アンケート集計結果

(実施期間：2022年4月1日～2023年3月31日 回答数：1,596件)

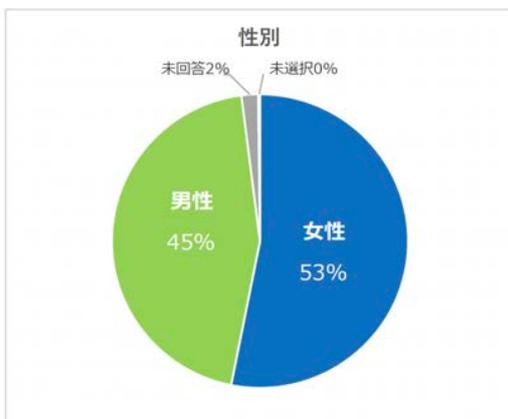
性別	人数
女性	848
男性	716
未回答	29
未選択	3

1596



性別	人数
女性	848
男性	716
未回答	29
未選択	3

1596



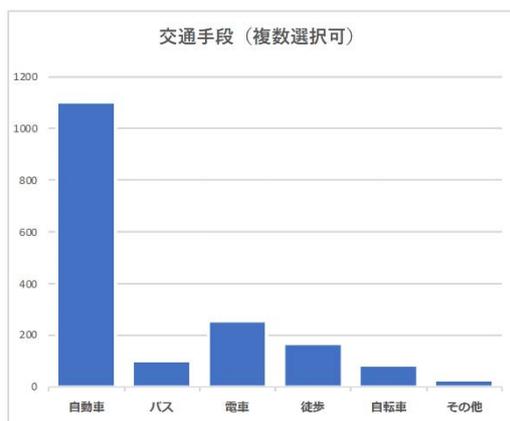
お住まい	人数
浜松市	909
浜松市以外の県内	382
県外	304
未選択	1

1596

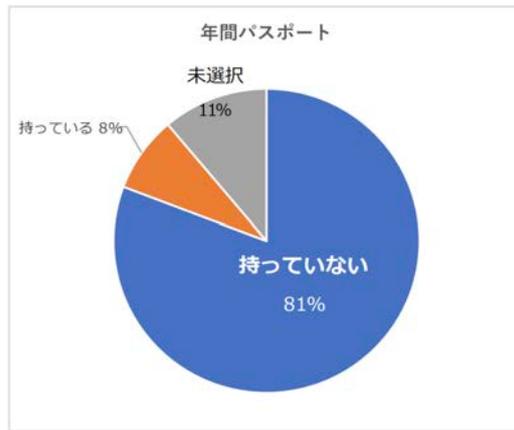


交通手段	人数
自動車	1104
バス	102
電車	256
徒歩	168
自転車	86
その他	28

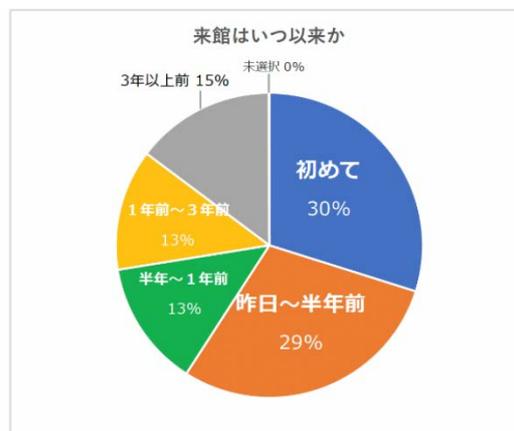
1744



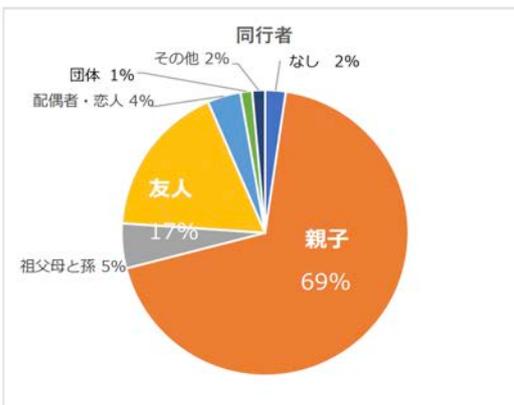
年間パスポート	人数
持っていない	1289
持っている	129
未選択	178
1596	



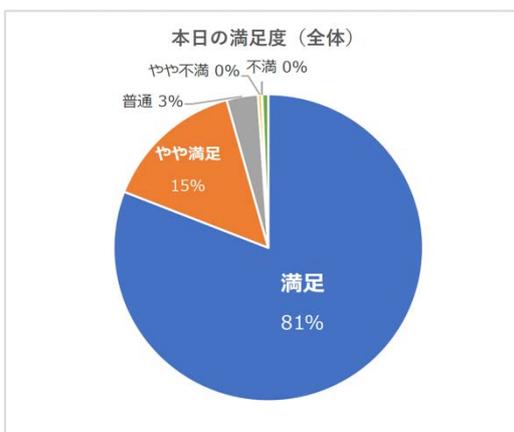
来館されたのは、いつ以来ですか？	人数
初めて	477
昨日～半年前	466
半年～1年前	213
1年前～3年前	205
3年以上前	234
未選択	1
1596	



同行者	人数
なし	37
親子	1096
祖父母と孫	81
友人	278
配偶者・恋人	60
団体	21
その他	23
1596	

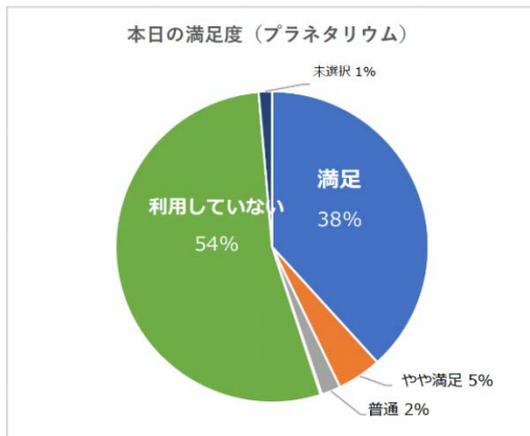


本日の満足度（全体）	人数
満足	1287
やや満足	234
普通	52
やや不満	6
不満	1
利用していない	10
未回答	6
1596	



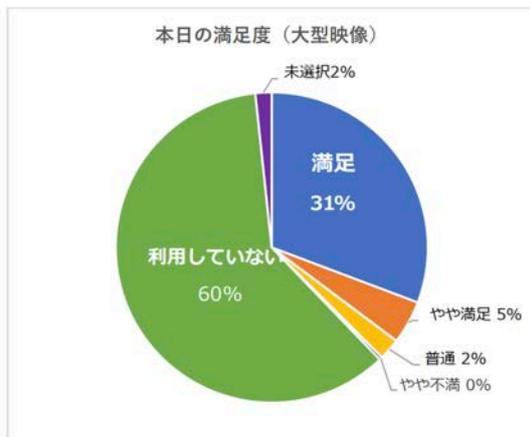
本日の満足度 (プラネタリウム)	人数
満足	611
やや満足	73
普通	32
やや不満	2
不満	0
利用していない	856
未選択	22

1596



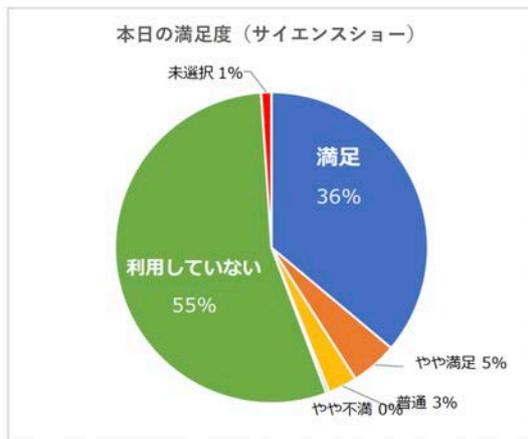
本日の満足度 (大型映像)	人数
満足	491
やや満足	72
普通	36
やや不満	5
不満	0
利用していない	965
未選択	27

1596



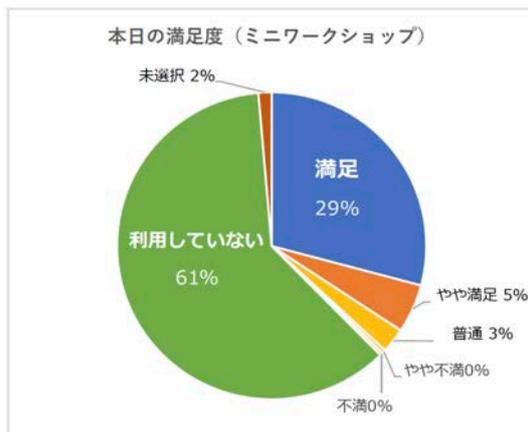
本日の満足度 (サイエンスショー)	人数
満足	577
やや満足	77
普通	48
やや不満	5
不満	0
利用していない	872
未選択	17

1596



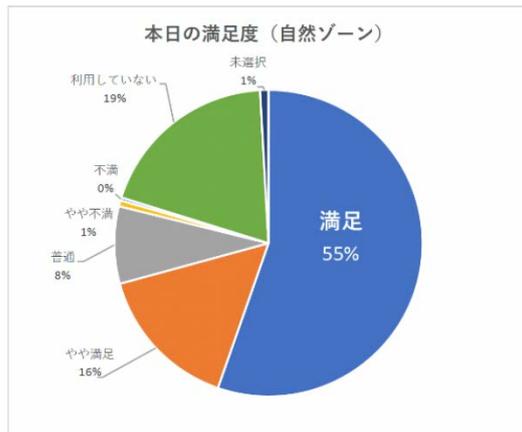
本日の満足度 (ミニワークショップ)	人数
満足	465
やや満足	82
普通	42
やや不満	6
不満	5
利用していない	974
未選択	22

1596



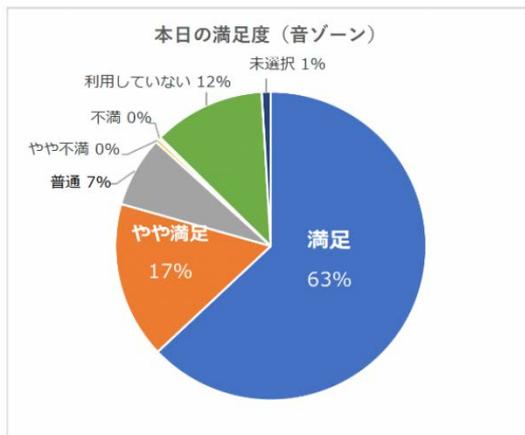
本日の満足度(自然ゾーン)	人数
満足	883
やや満足	246
普通	130
やや不満	10
不満	5
利用していない	308
未選択	14

1596



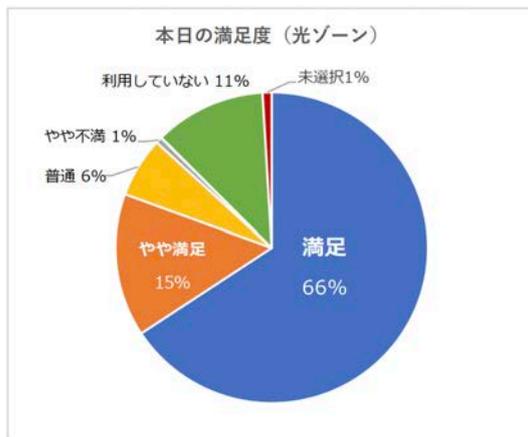
本日の満足度(音ゾーン)	人数
満足	1005
やや満足	262
普通	118
やや不満	6
不満	4
利用していない	186
未選択	15

1596



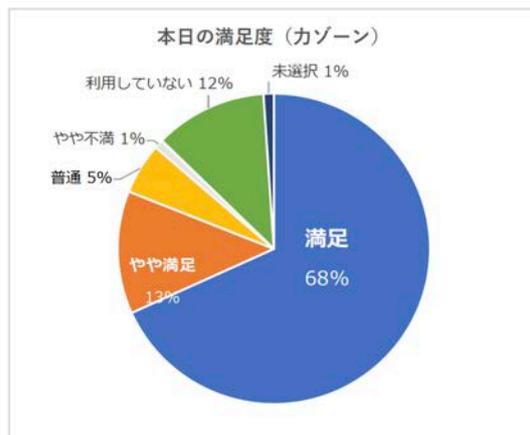
本日の満足度(光ゾーン)	人数
満足	1049
やや満足	237
普通	100
やや不満	10
不満	1
利用していない	184
未選択	15

1596

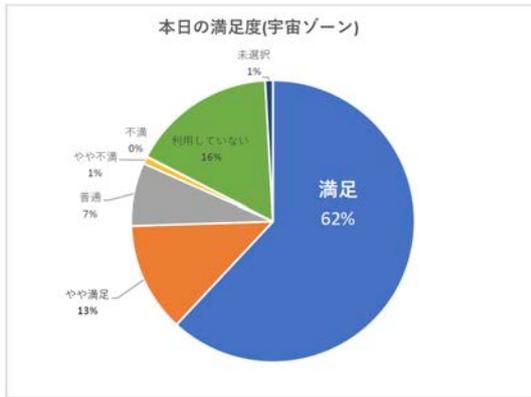


本日の満足度(カゾーン)	人数
満足	1089
やや満足	204
普通	85
やや不満	14
不満	1
利用していない	186
未選択	17

1596

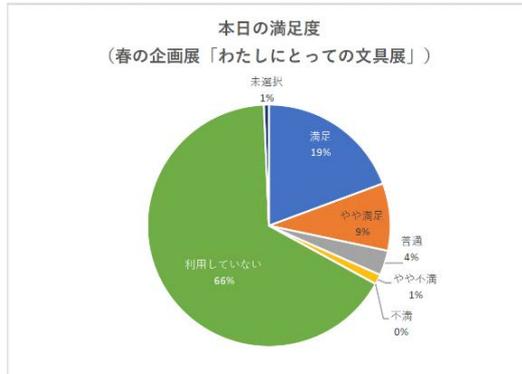


本日の満足度(宇宙ゾーン)	人数
満足	988
やや満足	201
普通	115
やや不満	13
不満	1
利用していない	264
未選択	14
1596	



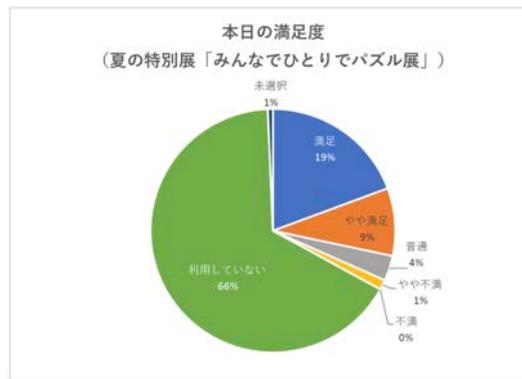
実施期間：2022年3月19日～2022年5月8日
回答件数：300件

本日の満足度(春の企画展)	人数
満足	58
やや満足	27
普通	10
やや不満	4
不満	0
利用していない	199
未選択	2
300	



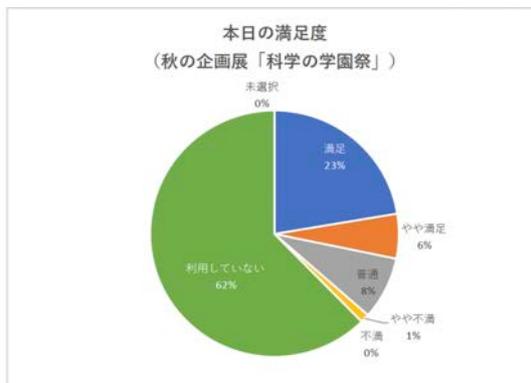
実施期間：2022年7月22日～2022年8月31日
回答件数：313件

本日の満足度(夏の特別展)	人数
満足	76
やや満足	6
普通	13
やや不満	0
不満	0
利用していない	213
未選択	5
313	



実施期間：2022年10月1日～2022年10月23日
回答件数：85件

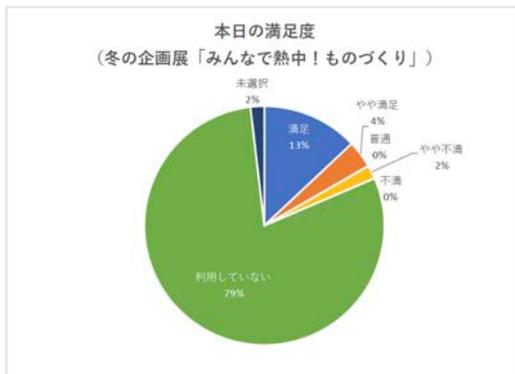
本日の満足度(秋の企画展)	人数
満足	19
やや満足	5
普通	7
やや不満	1
不満	0
利用していない	53
未選択	0
85	



実施期間：2022年12月20日～2023年1月9日

回答件数：54件

本日の満足度(冬の特別展)	人数
満足	7
やや満足	2
普通	0
やや不満	1
不満	0
利用していない	43
未選択	1
54	



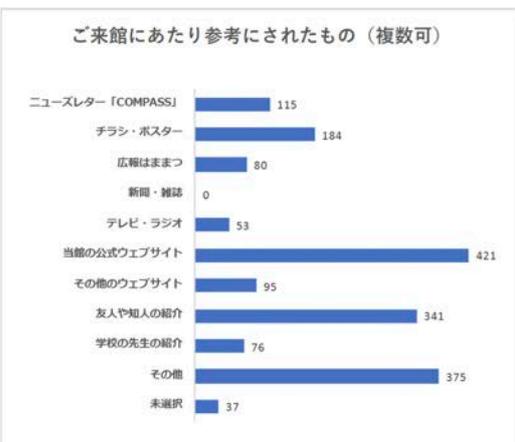
実施期間：2023年3月21日～2023年3月31日

回答件数：88件

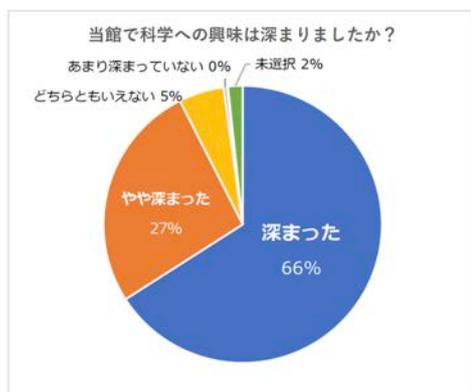
本日の満足度(春の特別展)	人数
満足	33
やや満足	7
普通	4
やや不満	1
不満	0
利用していない	42
未選択	1
88	



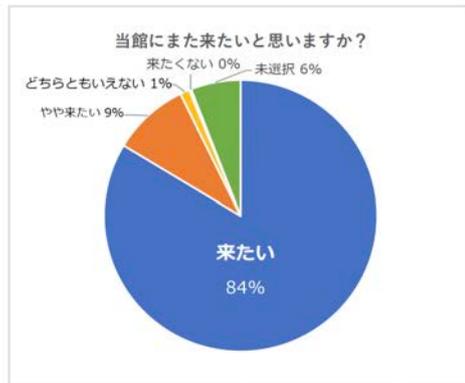
ご来館にあたり参考にされたもの(複数可)	人数
ニュースレター「COMPASS」	115
チラシ・ポスター	184
広報はままつ	80
新聞・雑誌	0
テレビ・ラジオ	53
当館の公式ウェブサイト	421
その他のウェブサイト	95
友人や知人の紹介	341
学校の先生の紹介	76
その他	375
未選択	37
1777	



当館で科学への興味は深まりましたか？	人数
深まった	1052
やや深まった	425
どちらともいえない	84
あまり深まっていない	6
深まっていない	2
未選択	27
1596	



当館にまた来たいと思いますか？	人数
来たい	1335
やや来たい	145
どちらともいえない	18
あまり来たくない	2
来たくない	2
未選択	94
1596	



本日最も印象に残った体験、展示など（自由記入）

- ・プラネタリウム（125 件）
- ・大型映像（29 件）
- ・サイエンスショー（100 件）
- ・ミニワークショップ（31 件）
- ・さがしてためしてみらいーら（11 件）
- ・春の企画展「わたしにとっての文具展」（4 件）
- ・夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」（6 件）
- ・秋の企画展「科学の学園祭」(4 件)
- ・冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり」(1 件)
- ・春の特別展「ビーコロ展 2 in 浜松」（13 件）
- ・自然ゾーン（15 件/電子顕微鏡、はままつ環境ウォールなど）
- ・光ゾーン（20 件/色当てチャレンジ、いろいろな鏡など）
- ・カゾーン（66 件/バイクの基本、クルマの基本と応用、パワーアシストつなひき、水のテーブルなど）
- ・音ゾーン（39 件/響きの変わる部屋、効果音をつくろう、電子楽器の世界、アクティブ・サウンド・ライブなど）
- ・宇宙ゾーン（32 件/ロケットを飛ばそう、スイングバイなど）
- ・その他（注染そめ手ぬぐい作りなど）

当館への意見やご要望（抜粋）

- ・家族旅行で参加しました。浜松にすばらしい科学館があり感動しました。浜松観光のメインとして皆に紹介したい。
- ・イベントの平日開催も少しはやってほしい。
- ・ビーコロ展をまたやってほしい。
- ・今後も引き続き子供達が繰り返し通えるような施設であってくれる事を期待します。
- ・幼稚園の子でも興味を持って遊べる物がもう少しあったらまた来たいと思います。
- ・スタッフの人がとても親切でした。
- ・身近な体験を通して科学について学習できる施設はとても貴重なのでありがたいです。
- ・工作、実験等がとても楽しいです。バリエーション、頻度をもっと増やして頂けるともっと楽しみです。
- ・大人向けのサイエンスショーがあったら参加したいです！！
- ・より科学を深掘したスペースがあると嬉しいです。
- ・故障しているものが目立ったのでメンテナンスがもう少し行き届いているといいなと思いました。

- ・展示物の修繕にもっと予算をつけて欲しい。どれも良い展示なので長く使えるように、ボロボロなもの、応急処置したものの、長期間修理中の展示などはもったいないです。
- ・展示が楽しくて飽きない
- ・光ゾーンのカラーミキサーで、手を合わせたりしても反応が無かったりしたので、もう少し反応を良くしてほしい。
- ・音のゾーンで、おんさの装置が良く分かりませんでした。
- ・月面写真のコーナーのアプリがわかりにくい。
- ・ベースステーションのクイズに、ふりがながほしい。
- ・階段のアスレチック等閉鎖になっているものや調整中のものもあったので次に来たときは使えるといいなと思いました。
- ・キッズスペースが土禁でしたが、表示が見つらなくてほとんどの方が土足のまま利用されていました。展示が充実しているだけに、目にはいりにくいと思いました。
- ・混んでいると順番を守らない、特定の人が道具やアトラクションを占有するなど問題が出ている。大変とは思いますが見回りや、整理をする人がもう少しいればと思った。
- ・プラネタリウムの映像が、回った時酔いやすいです。
- ・ガチャガチャをもっと増やして欲しいです。
- ・ショップに売っている物の種類をふやしてほしい。
- ・結晶の展示やワークショップをやってほしい。
- ・特別展が年パスで入れるようにしてほしいです。
- ・無料駐車場を用意していただきたい。
- ・館内で飲食できるのがありがたかったです。
- ・授乳室が綺麗でした。場所が分かりづらかったです。
- ・自分が獲得したポイントの有効期限が分かる仕組みがあると良い。
- ・傘立ての鍵が作動しにくいところがある。

当館への意見やご要望を踏まえた主な対応事例

- ・大人向けの企画として、毎月第3金曜日に高校生以上限定の「夜の科学館」を開催しました。2023年度4月からは、内容をより充実させて開催します。
- ・ご要望を複数いただいたことも参考に、春の特別展では「ビーコロ展」の第2弾を開催しました。
- ・主に未就学のお子様を対象としたコーナーである常設展2階の「キッズ・サイエンス・ランド」の改修を行い、開けたスペースで巨大パズルなどを遊べるようにしました。
- ・キッズ・サイエンス・ランドの入口床面に土足禁止の掲示を行いました。
- ・2023年3月14日より、「こどもエレベーター」の運用を再開しました。
- ・授乳室への誘導サイン（掲示）を増やしました。
- ・ミュージアムショップでは、流行や開催中の企画との連動を意識した定期的な新商品の入荷に加え、カプセルトイの入れ替えを行っています。

4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査(評価)結果

(1) 目的

浜松科学館が施設の使命・目的に基づいて、適正に管理運営しているかを検証し自己評価するためにセルフモニタリングを実施しています。その一環として、協働パートナーがどのような価値を見出すかを質問票により記述していただき(定性的な評価)、より望ましい事業連携を進めるうえでの参考にします。

(2) 実施先リスト

事業・催事名	実施期間	連携先(実施先)
やらまいかテクノロジーコーナーでの 企業・技術紹介	2月17日～7月28日 7月28日～11月2日 12月17日～1月31日	株式会社 ROKI 浜松スマート農業推進協議会 遠州産地振興協議会
科学の学園祭 2022	10月8日 10月9日・10日 10月10日 10月22日 10月23日	磐田東高等学校 自然科学研究部 聖隷クリストファー中・高等学校 科学部 浜名高等学校 自然科学部 浜松市立高等学校 自然科学部 磐田南高等学校 地学部
磐田サイエンスカレッジ 2022	12月17日	ワークピア磐田
身近で気になる昆虫展	11月25日～3月19日	山梨県北杜市オオムラサキセンター

(3) 調査項目

- ア. 浜松科学館と連携したことでどのような価値が得られたか
- イ. 浜松科学館と連携した感想
- ウ. 事業を実施する中での改善すべき点や課題
- エ. 今後浜松科学館と連携してできること(アイデア)

(4) 評価結果要約

連携先	主な意見
株式会社 ROKI	<p>内容：やらまいかワゴン展示及び「マスクガチャ」試供品提供</p> <p>自社単独で同様の企画をするとどうしても固い雰囲気になってしまうが、科学館と連携したことで子どもも楽しめるような親しみの持てる展示にすることが出来た。展示では、不織布マスクでの正しい感染対策や衛生管理の多くの方に情報発信ができ、地域・社会に貢献できた。パネルメインの展示ではなく、体験型のコンテンツを準備出来れば良かったと思う。</p>

連携先	主な意見
浜松スマート農業推進協議会	<p><u>内容：やらまいかワゴン展示「スマート農業」</u></p> <p>将来の農業の担い手になりうる子どもたちに「カッコいいスマート農業」を知ってもらえることが出来た。自分たち単独ではリーチできない層に幅広くPRすることが出来た。農業散布用のドローンを展示したヤマハ発動機からも幅広い層に知ってもらえて良かったとコメントがあった。展示の設営・運営に際しても細かく支援してもらい助かった。</p>
遠州産地振興協議会	<p><u>内容：やらまいかワゴン展示「浜松注染そめ」</u></p> <p>地域の次世代を担う子どもたちに地場産業（浜松注染そめ）について知ってもらう機会をいただいた。学校でも学ぶ機会が少ない中、子どもたちが多く集まる施設で展示したことで広く周知することが出来た。科学館側で展示の工夫をしてくれたことでより多くの人に見てもらえることが出来たと思う。織り(遠州織物についても展示やワークショップ等で周知したい。</p>
磐田東高等学校自然科学研究部	<p><u>内容：科学の学園祭 2022 実験「目指せ、サイエンスマスター!!」</u></p> <p>来場者に対して、どのようにすれば興味を持ってもらえるかを考えて実験をおこなうことができた。科学館のサイエンスラボは実験を行いやすい環境で、普段とは違う雰囲気で行うことが出来た。実験なので研究が深まり、部活動に対する生徒の意識が高まった。多くの人と関わることで、生徒のコミュニケーション能力が高まった。</p>
聖隷クリストファー中・高等学校 科学部	<p><u>内容：科学の学園祭 2022 実験「ときめく光とざわめく暗やみ」</u></p> <p>一般の方に本学の科学部の活動を知ってもらえることが出来た。部活動の成果を見てもらうことが出来、生徒にとって大きな励みになった。科学館のスタッフのサポートがあり、テーマを決めて展示・パフォーマンスをするまでの大きな流れがわかり勉強になった。生徒が学校外のお子さんや家族連れに説明するのは良い体験、勉強になった。</p>
浜名高等学校 自然科学部	<p><u>内容：科学の学園祭 2022 ミニワーク「『まゆだまコロコロ』を作ろう！」</u></p> <p>生徒たちが、来場者の方とコミュニケーションをとることが出来た。一緒に参加した他校の生徒と交流できたことも良かった。今後も定期的に、できれば月1回くらいのペースで、どこかの団体(企業も含めて)が今回のような形でイベント参加が出来ると良いと思う。</p>
浜松市立高等学校 自然科学部	<p><u>内容：科学の学園祭 2022 サイエンスショー「信号反応」</u></p> <p>科学館のステージで大勢のお客さんの前でサイエンスショーをすることは、生徒たちにとって貴重な経験になり、自信につながった。子どもたちにもわかりやすく説明すること、楽しんでもらうことの大変さがわかった。科学館のスタッフが応援してくれて助かった。サイエンスショーに対しての厳しい指導やアドバイスも期待したい。参加者校との交流の機会もあると良い。</p>
磐田南高等学校 地学部	<p><u>内容：科学の学園祭 2022 ミニワーク「化石のレプリカをつくろう！～アンモナイトのお話～」</u></p> <p>感染症により、生徒の活動発表の場が減っている中で今回のイベントは貴重であった。日本は地学的に価値のある場所が多く、少しでも次世代に地学の面白さを伝えることができたら幸いである。科学館のサイエンスラボは素晴らしい環境で、備品の貸し出しなどの支援も助かった。今後も、地学の講座(実験)を生徒が主体で行うなど、連携していきたい。</p>

連携先	主な意見
ワークピア磐田	<p>内容：磐田サイエンスカレッジ 2022 講座「うえちゃんのビリパチ静電気」</p> <p>地域での認知度の高い浜松科学館と連携することで、普段施設を利用しない客層へもアピールできた。講師の上野 CE は、難しい知識を子どもたちに面白くわかりやすい形で一緒に楽しみながら学んでいくというプロフェッショナルなワークショップだった。今後も科学館と連携して「サイエンス」と「はたらくこと」を掛け合わせた事業が出来れば良いと思う。</p>
山梨県北杜市オオムラサキセンター	<p>内容：巡回展「身近で気になる昆虫展」（浜松科学館 2022 夏の企画展）</p> <p>浜松科学館が制作したキャプションや標本等は非常に質が高く、来館者の満足度が高く、スタッフも勉強になった。山梨県内の来館者に浜松科学館を知ってもらうきっかけにもなった。今回のような展示や観察会・講演会などのイベントなどスタッフが交流し、地域密着型の館同士連携を深め、地域から愛される施設として存在価値を高めていきたい。</p>

5. メディア取材等一覧表

掲載(放送)日	メディア名	詳細	取材内容
4月1日	SBSラジオ	ラジオカー「スクービー」	プラネタリウムリニューアル
4月5日	天文ガイド	5月号	プラネタリウムリニューアル施設紹介
4月5日	星ナビ	5月号	プラネタリウムリニューアル紹介
4月9日	FM Haro	はままつ案内所	春の企画展「わたしにとっての文具展」
4月13日	K-mix	しずおか星空案内室	プラネタリウムリニューアル
4月19日	K-mix	うごろジ	浜松シャボン玉フェス2022
4月19日	静岡第一テレビ	まるごと「いまだけ」	プラネタリウム、カフェ
4月20日	K-mix	しずおか星空案内室	生解説プラネタリウムについて
4月21日	静岡新聞ひふれ	お出かけ情報	わたしにとっての文具展、プラネタリウム
4月23日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	音の実験、スマホスピーカー工作
4月29日	静岡第一テレビ	everyしずおか	館内（GW初日の様子）
5月4日	静岡新聞		みらいーらロボットまつり
5月5日	中日新聞		みらいーらロボットまつり
5月5日	広報はままつ	5月号「家康くんのおでかけ日記」	自然観察園
5月6日	静岡第一テレビ	浜松発!!くぼちゃんねる	常設展、プラネタリウム
5月8日	中日新聞		活版印刷体験
5月8日	静岡新聞		活版印刷体験
5月14日	FM Haro	はままつ案内所	みらいーら自由に研究ラボ
5月8日	静岡新聞	YOMOっとしずおか	スタッフ図鑑（小粥さん）
5月27日	eらっこ	6月号「室内あそびスポット」	キッズサイエンスランド
6月1日	浜松・浜名湖だいすきネ	浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	館内全体
6月8日	NHK静岡	たっぷりしずおか	プラネタリウム
6月11日	FM Haro	はままつ案内所	ブックセレクション展
6月11日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	折り紙で実験！水の上に咲く花
6月16日	静岡新聞		特別展示「はやぶさ2を知ろう」
7月3日	中日新聞		特別展示「はやぶさ2を知ろう」
7月14日	子育て情報サイトびっぴ	子連れでおでかけ	大型映像「ハナビリウム」
7月1日	浜松ケーブルテレビ	浜松ふかぼり部	みらいーら自由に研究ラボ
7月2日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	サイフォンコップ
7月9日	FM Haro	はままつ案内所	プラネ新番組（宇宙旅行、水の惑星）
7月10日	静岡新聞	YOMOっとしずおか	スタッフ図鑑（三島さん）
7月26日	NHK静岡	たっぷり静岡	夏休みの自由研究に防災
7月8日	静岡新聞		プラネタリウム「宇宙へGO！夢の宇宙旅行」
7月21日	静岡新聞ひふれ	お出かけ情報	夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」
7月17日	こどもかがく新聞		イベント情報（パズル展ほか）
7月22日	静岡新聞		夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」
8月1日～7日	浜松ケーブルテレビ	みんなの週刊！だもんDE浜松	ITロボットプログラミング教室、パズル展
8月3日	浜松ケーブルテレビ	ウィンディニュースさんちよく！	夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」
8月8日	Visit Hamamatsu		常設展、プラネタリウム
8月1日	浜松百撰	8月号「街ネタ」	プラネタリウム「宇宙へGO！夢の宇宙旅行」
8月13日	FM Haro	はままつ案内所	夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」
8月13日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	片栗粉で実験
8月30日	朝日新聞（全国版）	建モノがたり	館の建築について
8月9日	子育て情報サイトびっぴ	子連れでおでかけ	夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」
8月15日	中日新聞		化石探し体験！
8月16日	中日新聞		遠州織物で作る！みつろうラップ
8月14日	静岡新聞		化石探し体験！
8月13日	静岡新聞		遠州織物で作る！みつろうラップ
8月12日	SBSテレビ	LIVEしずおか	館内
8月14日	子育て情報サイトびっぴ	子連れでおでかけ	化石探し体験！
8月15日	静岡新聞		2022夏休み・親子まちなかサッカーウィーク
8月18日	中日新聞		夏の特別展「みんなでひとりでパズル展」
8月19日	静岡新聞		やらまいかストリートワゴン（スマート農業）
8月22日	SBSテレビ	LIVEしずおか	ものしりっす（炎色反応の実験）
8月21日	ナビタイムトラベル		常設展、プラネタリウム
8月21日	こども科学新聞		8月のイベント情報
9月1日	浜松百撰	9月号「買ったものを見せてください」	購入品の紹介（沼パズル）
9月3日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	こぼれない水
9月11日	FM Haro	はままつ案内所	発明くふうコンテスト
9月26日	宇宙兄弟といっしょに学ぶ宇宙図鑑		プラネタリウム施設紹介
9月11日	静岡新聞	YOMOっとしずおか	スタッフ図鑑（水谷さん）
9月12日	浜松ケーブルテレビ	ウィンディニュースさんちよく！	理科自由研究作品展
9月14日	静岡新聞		ピアノアクション展示リニューアル
9月14日	中日新聞		ピアノアクション展示リニューアル
9月14日	読売新聞		ピアノアクション展示リニューアル
9月20日	朝日新聞		ピアノアクション展示リニューアル
9月14日	中日新聞		理科自由研究作品展
9月22日	NHKしずおか	たっぷりしずおか	ピアノアクション展示リニューアル
9月16日	静岡新聞		理科自由研究作品展

掲載(放送)日	メディア名	詳細	取材内容
9月21日	TSSテレビ新広島	TSSライク!	他県の科学館のリニューアルの事例として
9月26日	静岡新聞		発明くふうコンテスト作品展
10月2日	静岡新聞		科学の学園祭
10月19日	K-mix	しずおか星空案内室	生解説プラネタリウム「幻のうなぎ座」
10月4日	東京MX	声技の英雄	クント管の実験(道具の制作監修)
10月9日	FM Haro	はままつ案内所	科学の学園祭
10月12日	浜松経済新聞		ピアノアクション展示リニューアル
10月	まっふる静岡		館全体
10月9日	静岡新聞		生解説プラネタリウム「幻のうなぎ座」
10月16日	こどもかがく新聞		イベント情報
10月25日	じゃらんニュース		常設展、プラネタリウム
11月18日	イオンモールアプリ	アプリ限定オンラインマガジン	
11月13日	FM Haro	はままつ案内所	生解説プラネタリウム「幻のうなぎ座」
11月10日	馬蜂窩		常設展・プラネタリウム
11月20日	こどもかがく新聞		イベント情報
11月5日	静岡新聞		トークオブワンダー「皆既月食のしくみ」
11月5日	静岡新聞		トークオブワンダー「皆既月食のしくみ」
11月8日	NHKしずおか	たっぷりしずおか	トークオブワンダー「皆既月食のしくみ」
11月13日	静岡新聞	YOMOっとしずおか	みらいーら通信(天井さん)
12月1日	someone	vol.61「叡智へのいざない」	職員、館紹介
12月3日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	おうちで挑戦「風船で実験&工作」
12月20日	NHKしずおか	たっぷりしずおか	防災の実験(1)
12月27日	NHKしずおか	たっぷりしずおか	防災の実験(2)
12月6日	SBSラジオ	ふくわうち「街角ステーション」	常設展音ゾーン(12/6音の日)
12月6日	SBSラジオ	ふくわうち「やっきりさん」	最近やっきりしたこと
12月28日	東海じゃらん	浜松・浜名湖でどうする!?初旅	常設展、プラネタリウム
12月11日	FM Haro	はままつ案内所	冬の企画展「みんなで熱中!ものづくり」
12月21日	静岡新聞		冬の企画展「みんなで熱中!ものづくり」
12月23日	浜松ケーブルテレビ	地域の話	冬の企画展「みんなで熱中!ものづくり」
12月18日	こどもかがく新聞		イベント情報
12月24日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	おうちで挑戦「目の錯覚で遊ぶ」
12月25日	中日新聞		冬の企画展「みんなで熱中!ものづくり」
	朝日新聞		冬の企画展「みんなで熱中!ものづくり」
12月25日	静岡新聞		みらいーらクリスマスマーケット
1月11日	静岡新聞		やらまいかストリートワゴン(注染染め)
1月7日	中日新聞		生解説プラネタリウム「夜空に隠れたうさぎ」
1月14日	FM Haro	はままつ案内所	生解説プラネタリウム「夜空に隠れたうさぎ」
1月1日	浜松百撰	1月号	連載「科学で見つめる空」(第1回)
1月6日	中日新聞		昔あそび広場
1月15日	静岡新聞	YOMOっとしずおか	みらいーら通信(高野さん)
1月1日	読売新聞		新春ガイド(イベント情報)
1月22日	こどもかがく新聞		イベント情報
1月20日	静岡新聞		生解説プラネタリウム「夜空に隠れたうさぎ」
1月21日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	おうちで挑戦「水につけると変化するもの」
2月1日	浜松百撰	2月号	連載「科学で見つめる空」(第2回)
2月11日	FM Haro	はままつ案内所	MENKA Fair
2月16日	静岡新聞		全国科学博物館協議会総会
2月23日	静岡新聞		MENKA Fair
2月25日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	おうちで挑戦「摩擦の力で実験&工作」
	読売新聞		生解説プラネタリウム「日本の反対側の星空」
2月19日	こどもかがく新聞		イベント情報
3月1日	日本テレビ	ZIP!「飯尾和樹のベッコリ妄想移住ファイ	館内紹介(浜松市への移住者に向けたPR)
3月1日	浜松百撰	3月号	連載「科学で見つめる空」(第3回)
3月10日	るるぶ浜松 浜名湖24		施設紹介
3月10日	るるぶ浜松 浜名湖24		特集(プラネタリウム)
3月10日	ナビタイムトラベル		常設展、プラネタリウム
3月19日	こどもかがく新聞		イベント情報
3月12日	YOMOっとしずおか		みらいーら通信(小栗さん)
3月11日	FM Haro	はままつ案内所	春の特別展「ビーコロ展2」
3月18日	NHK名古屋	ウィークエンド中部	おうちで挑戦「摩擦の力で実験&工作」
3月18日	読売新聞	イベントガイド	全国プラネタリウムこども絵画展
3月26日	静岡新聞		春の特別展「ビーコロ展2」
3月29日	中日新聞		春の特別展「ビーコロ展2」
3月31日	WOMO		春の特別展「ビーコロ展2」

IX 指定管理者による自己評価

浜松科学館指定管理者は、中期計画の使命（ミッション）と事業目標に基づいて、成果・実績の検証と運営改善につながるマネジメントサイクル（PDCA）に取り組んでいます。自己点検活動を通してセルフモニタリング報告書を月次と四半期毎に浜松市所管課へ提出し、設置者と緊密に連携を取りながら適正な運営に努めています。また、年度の事業報告書に基づいて浜松科学館運営委員会による外部評価の場を設け、有識者から様々な指摘や助言を得て、スタッフのコミットメントを高めることに注力しています。

以下、第2次中期計画の4つの事業目標に基づく指定管理者の自己評価を記します。

【事業目標1】 創発的な学びの場を構築

1.1 常設展示室内での体験価値

利用者起点で体験価値を高めることを目指し、感動や長期的記憶に結びつく「学びの楽しさ」や「交流の喜び」を実感できるよう、現場でのプログラムの検証と改善を日々実践しました。体験機会を増やすことで利用者数増進などの定量的な成果を目安としつつ、参加者との一体感やライブ感を高めて、「今、ここでしか体験できない」という体験価値の希少性を追求し、短時間のうちにも凝縮した内容としています。

前年度から継続してプログラムの改良や新規の取り組みを行い、1回の時間を短縮して実施回数を増やしたり、参加者を少人数に絞ってコンテンツの種類を増やしたりする工夫をしています。サイエンスショーは、約1,600回・5万2千人（2021年度約1,500回・3万9千人）が参加し、常設展入場者の30%（2019年度：18%）に上るメインプログラムのひとつに成長しました。他にもミニワークショップ、アクティブ展示解説、「さがしたためてみらいーら」等、常時体験できるプログラムのバリエーションを増やし、何度訪れても楽しめる工夫を凝らしています。従来、春・夏の特別展で年間集客のピーク拡張を目指していましたが、今年度から秋と冬の企画展として新たなイベントを実施しました。一極集中的な集客から多極分散的な底上げを図る集客戦略に転換したことで、スタッフが利用者一人ひとりに丁寧な対応を図ることが可能となり、感染予防対策とコミュニケーション重視のプログラムを両立させました。

1.2 プラネタリウムでの感動体験

2022年3月に設備リニューアルしたプラネタリウム・大型映像事業では、最新のシステムによる圧倒的な星空の美しさと迫力、高精細な映像の魅力により、過去最高の観覧者数（82,522人）となりました。観覧率は48%で、常設展入場者のほぼ半数がドームに入っており、アンケート調査でも「最も印象に残った体験」としてプラネタリウムを挙げる声が多かったです。投映後の観覧者からは感動的な体験に関するさまざまな感想が聞かれ、生解説主体の投映スタイルも多くの方に支持されています。

【事業目標2】 地域に開かれ、市民に愛される科学館づくり

2.1 オリジナルコンテンツの独創性

科学館のスタッフが事業プログラムを内製し、独自のコンテンツ作成を進めていることで、他では味わえない雰囲気や施設固有の魅力となっています。「浜松科学館ならではの」事業を構築することで、施設価値が市民の文化・学習体験と結びついた思い出となり、地域への愛着を生み出すきっかけとなることを狙っています。

プラネタリウムでは、浜松市内の施設や歴史等の地域資源と関連付けたオリジナルコンテンツの制作を2019年度から継続しており、地域の価値創造に寄与することに努めてきました。また夜の科学館のプラネタリウムコンテンツ「スター

「フライト シーズンⅡ」は、昨年度からのリピート利用に加えて新規のファンも増えて、12番組24回の投映で2,696人に楽しんでいただき全番組観覧者が45人に上りました。

2.2 教育機関との連携

学校、幼稚園・保育園等の団体利用の促進に努め、市内外の校長会や理科研究部会等でのPR活動に加え、浜松市内の全小学校校庭のパノラマ風景が投映できる新システムにより、プラネタリウム学習投映の際に学習効果がより高まったという評価を得ています。県内の学校の修学旅行利用や、中学生の職場体験活動、大学の博物館実習、長期企業内留学生の受け入れなど、あらゆる機会に教育機関との連携を模索しました。

2.3 ボランティア活動の拡充

ボランティア活動に継続して参加するジュニアボランティアが増え、一般ボランティアとの協働も広がってきました。自主的にミニワークの補助や自然観察園の手入れ・観察に取り組み、独自のプログラムの実施を通して、スタッフとの相互交流による価値共創が行われるようになりました。ボランティアへのアンケート調査からは、「さまざまな世代、年代のボランティアと交流できた」という回答が一般で100%（ジュニア89%）あり、世代間交流が高く評価されています。また、「地域・社会に対する貢献ができた」（一般71%）、「地域への関心が高まった」（ジュニア94%）、「価値観を共有できる仲間ができた」（一般86%）といった実感からも明らかのように、ボランティア活動が地域と科学館に対する良好な関係構築に寄与できていることが窺えます。

【事業目標3】 協働による新たな視点の提供と地域固有の価値向上

3.1 地域の様々な主体との連携

地元企業による「やらまいかテクノロジーコーナー」のワゴン展示では、企業の独自性・創造性を広く市民に知ってもらう機会となり、新たな価値創造に結びついたという感想が連携先から寄せられています。例えば遠州産地振興協会との共催で大河ドラマ館へ展示する手ぬぐいを制作しましたが、浜松市・観光・シティプロモーション課との連携により地域の観光資源創出に関わることで、コンテンツ・ツーリズムへ貢献する成果が得られました。また、初めて開催した「みらいーらクリスマスマーケット」やミュージアムショップでの特産物販売等を通し、地域の様々な主体との連携の可能性を拡張して科学館の存在意義の向上に努めました。

3.2 ユーザー・エクスペリエンス（UX）の向上

科学館を利用する一連のプロセスの各段階で的確な情報提供を行い、利用者の体験価値の向上に努めました。SNS、Web等を通じた適したタイミングでの発信や、効果的なデザインの広報物作成、館内フロアの誘導等の見直しを行っています。また、公共施設としての安心感や、科学館で働くスタッフの人物像が伝わるような広報を継続することで、科学館への親しみや信頼感を届け、来館意欲につながるように努めました。さらに組織的にユーザー・エクスペリエンスの価値を高めるために、受付や電話応対等のバックヤード業務では、各スタッフが丁寧な対応をすることに努めることで、市民や事業者との良好なコミュニケーション機会が増え、様々な場面での関係構築を図りました。

3.3 全国大会での発信

2023年2月に開催した「全国科学博物館協議会理事会・総会及び第30回研究発表大会」では、全国の主要施設から多くの科学館関係者の参加があり、「誰もが利用できる包摂的な科学博物館～人々のニーズや社会の要請に応える」というテーマで、主にインクルーシブなミュージアムの役割や取り組み事例の発表がありました。当館からは

上野 CE が基調講演を務めるなど、浜松科学館からの発信や館内の事業プログラムを通してスタッフが深く関わり、科学館が地域に果たす役割やこれからの社会で求められる価値を見直す好機となりました。

【事業目標 4】 持続可能性の向上を目指した適正なマネジメント

4.1 施設価値の向上とマネジメントの重要性

プラネタリウム機器更新事業を弾みとして施設価値が大きく向上する一方、メディアからの取材、記事掲載等に丁寧に対応することやオウンドメディア（COMPASS、note 等）の魅力を高めることに努めました。その結果、科学館への注目度が高まり、公式 Web サイトのユーザー数は 30 万 2 千人（前年度 17 万 6 千人：72%増）と 2019 年度以降最高を記録し、昨年度に引き続き来館時に参考としたメディア等のトップになっています。SNS を含むネット情報は、今や特定の世代・層に限らず広範な利用者層が参照するツールとなっていることから、アクセシビリティに十分配慮して運用しています。

運営の鍵となるスタッフマネジメントの向上を目指し、研修・自己研鑽の支援や、目標管理（MBO）を通じた適正な人事評価制度の運用を行い、異動や昇格、新規採用等による組織体制の強化を図りました。スタッフ全員が参加して作成した第 2 次中期計画に基づき、科学館のミッション・事業目標と個々の職務目標を関連付け、現場の権限を強化して自律的にマネジメントする組織体制を目指しています。

4.2 環境整備・安全対応

COVID-19 感染症対策として、館内の消毒・清掃作業の徹底や、パーティションの設置、全館の換気量モニタリングに基づく適正な換気等に取り組みました。また、共同事業体各社の指針に基づき、スタッフの感染予防対策や健康管理にも十分留意し、利用者が安心して過ごせる空間を提供し続けられるように努めた結果、施設に起因する感染拡大等の事例は皆無でした。

また、1 万平米近い科学館の敷地は、駅南地区の貴重な緑地として多くの市民に親しまれています。この環境を良好に維持するために、定期的な敷地周辺の清掃、サイエンスパークや自然観察園の樹木・植栽の剪定、除草等によって美観にも留意した管理を行っています。また、夜間・休館日の飲酒や騒乱、器物の汚損、自転車の盗難等に対して、浜松中央警察署の協力で巡回（警邏）を強化するなど、サイエンスパーク及び自然観察園の適正な維持管理に努めました。

4.3 危機管理訓練

休館日には、火災を想定した年間 2 回の避難誘導訓練・消火器使用訓練を実施したほか、近隣の緊急避難場所（旧高砂小学校）までのルート確認を行うなど、より実効性の高い訓練を実施することで協力会社を含む従事者の防災意識を高めています。

令和4年度浜松科学館指定管理業務事業報告書

令和5年5月

浜松科学館指定管理者

乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体

〒430-0923 浜松市中区北寺島町 256 番地の3

Tel.053-454-0178 Fax.053-454-0184

info@mirai-ra.jp